

刊

평성도대강은 못치나 셔작일 부터 그

은지 잇디 학논지의 심이 되나, 건정  
부가 영공은 諸國인이다. 李王의

[illegible]

이 일서 지고 나 지드 못을 모르면  
선한 게 우를 뜻하는가 시는 오만코츠

소담담

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

건양 원년 신일이 신관함

학부대신서

관고대이비유호리국오민스년하부

링대소호대이조제대원제에조국치이

심소수조함

二月以內

간행원년상월이십팔일

학부대신서

리하부합판

윤치호

三月二十七日

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

依例免本官

다러관리삼사인을타리고元元에게

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

이관대가서번소는비파를타고少

官報抄錄

이 가

이 가

이 가

이 가

이 가

先哲叢談

이 가













郵船式會社  
仁川出帆  
廣告

四月五日 午前十時帆出  
群山木浦濟州島左水營三川浦馬山浦釜山行

四月九日正午十一點  
芝罘天祥行

四月五日芝罘より入港四月六日三  
蓋山對州長崎下ノ兩神戶行

三月 日  
長崎 釜山 元山 博羅行

四月廿七日入港四月廿八日山汕  
金山馬頭脚月行

釜山對馬長崎馬關神戶行

日本郵船株式會社 仁川支店

當店雖從前貸借上聞過と生ずる條不秘就て自  
今當店名義以て得ての買入物等は買物振成へ  
捺印ある証憑なき買物掛物及貸借は來談が煩  
るものなりとて一切當店の責任を免るものと  
四方の諸仕切約者可被下帳此段廣告仕候也  
昭和七十  
九號地

# 長里商塵

●大朝鮮國學部編輯  
局編纂書籍販賣廣告

李相公母曰에서 大韓醫院에서 醫官을 爲하사  
 李相公을 養育은 事蹟에서 限有한 事蹟을  
 語에 精著한 事蹟을 바닷스 오니 諸君의  
 名譽를 自今以後로  
 李相公의 功績으로 널리 限有한 事蹟이 오니  
 사시라 가던 四方諸君子  
 李相公을 爲하사 李相公을 爲하사 李相公을 爲하사

將諸目錄은거번 못 더 漢文譯에 附錄  
 學部譯書은거번 오  
 漢語文房具 學生用器 各色  
 西洋貨物 各色 筆 紙 硯  
 雜貨 各色  
 京坂龍興八十七號地  
 丸屋商店主人金澤末吉

獄

尤

着荷  
二元西洋  
日本村田式  
連込新式  
銃銃銃銃

晶

屬 附 銃  
 會 商 川 石  
 帽 西 長 護  
 洋 服 各 漢  
 種 履 履  
 子

サアサア皆さん御評判且御望の税  
金拾貳万余圓職工壹万余人東京銘物  
天狗煙草製造東京銀座岩谷商會が大  
坂へ支店を設け渡邊榮次と申者支配  
人とし各地御愛客様の御便利十二分  
可致候間永當々々御品評願上弁

東京銀座三丁目  
大坂西ノ橋堀東上橋南角  
岩谷商會大坂支店

第五拾八國立銀行京城支店

|         |    |      |     |
|---------|----|------|-----|
| 一當座預金   | 五圓 | 二日   | 金壹錢 |
| 二當座預金   | 五圓 | 七日   | 金壹錢 |
| 三當座預金   | 五圓 | 十日   | 金壹錢 |
| 四當座預金   | 五圓 | 十五日  | 金壹錢 |
| 五當座預金   | 五圓 | 二十日  | 金壹錢 |
| 六當座預金   | 五圓 | 二十五日 | 金壹錢 |
| 七當座預金   | 五圓 | 三十日  | 金壹錢 |
| 八當座預金   | 五圓 | 三十五日 | 金壹錢 |
| 九當座預金   | 五圓 | 四十日  | 金壹錢 |
| 十當座預金   | 五圓 | 四十五日 | 金壹錢 |
| 十一當座預金  | 五圓 | 五十日  | 金壹錢 |
| 十二當座預金  | 五圓 | 五十五日 | 金壹錢 |
| 十三當座預金  | 五圓 | 六十日  | 金壹錢 |
| 十四當座預金  | 五圓 | 六十五日 | 金壹錢 |
| 十五當座預金  | 五圓 | 七十日  | 金壹錢 |
| 十六當座預金  | 五圓 | 七十五日 | 金壹錢 |
| 十七當座預金  | 五圓 | 八十日  | 金壹錢 |
| 十八當座預金  | 五圓 | 八十五日 | 金壹錢 |
| 十九當座預金  | 五圓 | 九十日  | 金壹錢 |
| 二十當座預金  | 五圓 | 九十五日 | 金壹錢 |
| 二十一當座預金 | 五圓 | 一百日  | 金壹錢 |

此項リ食ハ廻帳ヲ以テ出入ヲ爲シ一日金五兩以上  
何程ニテ御願リ可申候

一定期預金

六ヶ月 年

七

分

一貸付金  
一當座預金

一手形割引  
一荷爲換

送金（肥付 送金共）  
一代金取立

金額ノ多少ニ係ハラス知申込版下度候

爲換取組先

|    |    |     |    |    |
|----|----|-----|----|----|
| 仁川 | 釜山 | 長崎  | 福岡 | 馬關 |
| 神戶 | 大阪 | 名古屋 | 橫濱 | 東京 |

岩谷商會

大坂二一大支店

會覽博大同德牙班西 會覽博業勸國日

受銅賞牌

牌 寶  
DAI NIPPON

第 一 節 酒 類

合覽博大國萬牙班西 合覽博南葡葡葡葡

第一甲斐產葡萄酒



第一甲斐產葡萄酒

第一甲斐產葡萄酒

第一甲斐產葡萄酒之特効

酒類若其性質之不同而人體之感受亦異其第一甲斐產葡萄酒之特効...

第一甲斐產葡萄酒之特効

酒類若其性質之不同而人體之感受亦異其第一甲斐產葡萄酒之特効...

第一甲斐產葡萄酒之特効

酒類若其性質之不同而人體之感受亦異其第一甲斐產葡萄酒之特効...

第一甲斐產葡萄酒之特効

酒類若其性質之不同而人體之感受亦異其第一甲斐產葡萄酒之特効...

第一甲斐產葡萄酒之特効

酒類若其性質之不同而人體之感受亦異其第一甲斐產葡萄酒之特効...

第一甲斐產葡萄酒之特効

酒類若其性質之不同而人體之感受亦異其第一甲斐產葡萄酒之特効...

廣 告

市川旅館

三洲市一日

鈴木大阪堂支店

鈴木大阪堂支店

新着荷廣告

帽子、手袋、手甲、靴

下、衣、タチル、防

寒具一切、上等仕

込、紙類及

洋蠟及和蠟

正喜撰

田村商店

移轉廣告

一和漢洋藥及洋酒類卸

小賣業

限本商行

限本商行

板子大中色

右新着廉價販賣仕候條

多少に不係御用被仰付

度奉願候也

鈴木大阪堂支店

鈴木大阪堂支店

漢城新報

刊發日隔

雜報

●伊太利全國之大敵邦大勝報

각우르氏總統은후에 삼십년이나 아모일업지지던이래리국은...

이래리국의근리형서는戰勝을니무 공언하엿는후에財政이어렵게되고...

▲收稅如稅稅하니라 도둑과바라 데리료가아비시니야稅를치러가서...

물아살는것은치되야되라 도둑과바라 데리료가아비시니야稅를치러가서...

▲政府稅收報이라 이라호悲觀을收歟 은벌서복합정부인알고잇섯스나후...

명이지었다는것을알게되니다음에오전 명이지었다는것을알게되니다음에오전...

동지에戰勝은일전지상에수차들 리지하였스니그산성의戰勝을보...

광주비도나간후에관군이드러가집 사이온이머저을파보고마루청을피...

고비도의비밀을알면서잇스나밤 이면종수기을이셔관군이드러와...

이면종수기을이셔관군이드러와 서이면종수기을이셔관군이드러와...

이면종수기을이셔관군이드러와 서이면종수기을이셔관군이드러와...

이면종수기을이셔관군이드러와 서이면종수기을이셔관군이드러와...

이면종수기을이셔관군이드러와 서이면종수기을이셔관군이드러와...

이면종수기을이셔관군이드러와 서이면종수기을이셔관군이드러와...

平壤來信

만세를종수기을이셔관군이드러와 서이면종수기을이셔관군이드러와...





無據談務  
흥  
綴務上  
아  
리스  
신데  
계장스  
하  
도  
들  
의  
니  
하  
비  
망  
물



●日本駐劄公使の出發

●通國公使の一行

遠東公使閣下盛氏一行の歸國を目前にして、  
前號に記てしが、舊國公使館書記官スタイン氏  
も同行せし由にて仁川までの路上は、露國水兵  
若干名之を警護し仁川に着するや直に露國軍  
艦ゴリョヤスキー號に落したるが間駈は再昨  
日仁川を抜船し上海に向ひたり尤も同一行は  
上海よりは郵船に乘換るゝる筈とて既報の如  
し

在仁川兩郡兵站監高井大佐は總督府對馬一同  
は食々一昨三日正午頃同地を引揚げ御用船宗  
谷丸に搭し歸朝の途に就けり同地駐揚の際は  
仁川領事館員、通信隊員、同地守備兵及び韓  
留民の重立ちたる者等無慮數百名厚く之を見  
送り埠頭口に入山を榮さしと云ふ

埠頭に人山を築きしと云ふ

(四) 國庫券の發行

去月十二日我が津水漁業者十五名の竹達船に於て遭難せられたる難き航行者より其の病へ急報せしに付ては右十五名中生存者のみ有無及び實地検査の必要ありて帝國軍機島海軍は既報の如く釜山警察署の國村巡査及び明群巡檢、通報者の一人ある山村三太郎を乗り組ましめ去月二十一日午後二時三十分釜山港と接續して竹達船に向つて遭難し二十五日午前十一時を以つて其の調査と再へて釜山港へ歸航したり今其の調査の概略と聞き得たれば左に之れと載録す

東洋は日本海と東海間の間に位置する

島附近の沿岸より我が漁業者の遺跡地を調査する「角鹿柳神」と云へる所に於て彼の二十四名の漁業者は其の昔別の地を獲らんで假小屋と稱せしものと見え今や尚ほ打崩せられたる假小屋の材料と散在せり鳥渡嶺は真淵に到りて一や露秋柳に投鐘し直ちに燭臺を知し大穴するや露秋柳に投鐘し直ちに燭臺を知し大穴する宮川兵市、郷資蔵村武經源徹敬澤の三王及び遠藤山田村三太郎と上遊せし間は其が保護として水兵若干名を附隨せしめたり然に附近の人民は我が軍艦と見るや否や逃避して一人を留りず一行は波止場より約十町餘隔たりたる竹邊崎と云へる戸數凡四五十戸あり外の村落に至りたれども何れも反感のみにて當時の事情を探知するの術なきと以つて更に其の附近の村落を搜索し都合三個の村落に至りて漸く四人六名を得て尋問せしも他のものは一切知る所なしと云ふのみにてならん安臥と得る能はず嗟む所の聞く所々變らば江陵の暴徒二十名日本人の此の地に在る間て農家を企てて途次百診の人民三十名

一行は又た西郷館に至りて探問する所ありし

が前の韓人六名の陳言せしものと悉く符契あり依つて其の遺骸の情況は一通り判明したるを以つて更に遺骸の搜索に着手し其の所在地を前の韓人等に尋問すれば一人として之を知るものなし一行は種々探射の上、龍秋師の西方海岸なる日本人築設小屋跡に逕趨せる一部に新たに發掘せる地面を發見し試みに其の一處を掘ると日本限地の切岸に他無遺骸

と認むるを以て更に深く發掘せしに果するかな廣さ五尺長さ一丈五尺深さ三尺五寸位なる長方形の坑をなし死屍累累として堆積せられ何れも衣服のさゝ、親類、棺槨等を以て幾重となく手足を緊縛し表面を漆類、シヤツ等を以て數回其の上に厚さ一尺許り土石を敷ひ、宛然合葬の有様なり又た發掘するは他日の匿跡と識別するの意ありしと見へ假小窟の用ひし類同、竈の口戸、甕の中に入りし「スト」。「網」を曳くに用ふる小車の如き製品と點と綑體と共に埋り石油を灌ぎ火を燃けし

石油の料少なくして其の効を益をなすべし

其のまゝ土石にて埋めし模範にて頭髪及び  
裳は点か熟焦し居たり飲りて人夫に命じ一  
穴より引揚げ其の原宮川大軍警現捕と遺影  
夫れを緊縛せる繩を解き各個の屍体に就  
檢視し箇所又は致命の箇所等を精密に調査  
しに屋跡徳太郎の屍体は行跡不明にて幾  
四名あるが内首なきもの一人他首に存す  
さも頭となく腹となく手足となく思ふ  
探検隊利し一として研研腐爛せざるを其  
状強固極地目も當てられず内銃と鉋刀とを  
て致害せられたるもの一人、緊縛せる  
鉋刀及び鎖は均成致せられたるもの十人、  
副かる器物にて擲殺せられたるもの一人を  
併せて調査と了はり屍体を竊穴に埋め目録  
して原簡と其の上に建て韓人に保管を命じ  
一行は歸郷せり

電燈が燃り組みあつたる二艘の漁船は悉

打ち破られて片材とも止りず又た船中の要  
は村民等が思ひにくに神を去りたるものと  
へ竹邊洞の空裏中に四斗樽四本、銅五登、  
升炊釜一個、筵三十枚、飯櫃一個、夜具一着  
於一個、櫓一挺、荷桶三個、神片一個其の  
數品を發見せり依りて悉く取替りて職人に  
管方を命じ置けり  
傳紀の場所は寶秋岬の西方海岸より十三四  
東方より小高き處の假小屋にて竹邊洞の本  
と距る五斗樽南方より幾建は右假小屋の背  
をる小高き笹山の細路より突然襲來し旅客  
一同が驚ひて前面の海岸に向ふて逃走する  
追ひ驅けて危難とせしかり而して尾跡の屍木  
獨り行街不分明するは多分乗船の間暴徒に  
付けられ海中にて殺害せられ其のさ、海中  
沈没したるからん又暴徒の多くは出川迄丁  
焼コナ鹽の給及び塩手と稱へ多勢を恃み眞  
無休に被害者の手足を緊縛し頭身を差別を  
之を以て打撃して死に至らしりたるものなるべ

東臨島部より更に進んで江原、慶尚南道の各

港に至り野診所へ平海、軍海、廻日討、要  
寄山等の各地に乘組員を上陸せしめ内地行商  
人若しくは漁業者に會せば遇れ附へる筈にて廻  
く探討せしむ日本人とては一人も見當らず又  
た松雄、廻日湖以北にのみ屯集せる趣きにて  
其の以南は殆どて不慮の模様無かりじとなり  
●土田顯亮被密監視の模様  
馬場の人土目撃する者の去月九日海濱放牧  
を以て一決

下川と於て殺害せられたる事は過日の紙上に

記せしが今當時の様態を聞くに同人は被擄前  
共諸道各地に行商せんとて誤一名を從へ平瀬  
と出で先づ敦州に至り夫より沿邊各地に行商  
しつゝ十二浦に出でては五月七日のとなりし  
が翌八日同地を殺し安岳郡竹下浦に赴きた  
り其十二浦を殺する時七八名の韓人佐を追ひ  
來りしに同じく敦下浦に赴かんとする者なり  
と云ふより土田は善き道件れなりと途上此方  
山の頭ををし爲に其日は足の疲るゝをとも覺  
へず夜下浦に着しは早や敦件ありしかは同  
れも同夜は此地に一泊せり其翌九日土田は銀  
幣の出征に應

南浦：「咄かん！未明よ、旅宿を立ち出で漸くは同地方の暴

三間も歩みしと思ふ頃何者とも知りず橋を以て痛く其背に打ちたる者あるより降きて振顧みれば昨日十二時より同道したる七八名の韓人阿礼國大の棒御手にして俄に突立ち斬るに足這は附られたるかど直に刀を抜かんやせしが韓人は更に棒を以て其手を打ち来よう七八名總掛となりて散々に土面と打撃し終へば死に至らしめたりたう從價にあきれて其場を皆あひりしが熱民は事の對見を防ぐ爲め彼をも攻撃すべしと云ひ居るより彼は矢蹕　其處を遁け出し十二日夜半頃に知りて狀を同地出張我警察官に具申せり是は於て平原警察は實地を見分として翌十三日田中、役所の二巡査と從がへ朝鮮警檢五名と共に開地を出發し船にて大同江を下り十五日の開放下浦へ着したり元來開地は單に渡船場としか人家も僅は七戸あり

五月十四五日  
▲鎮撫  
同江を超へて  
で江西と襲ひ  
追々遼西附和  
江西郡守は直  
せ　是に於て  
の方法と協榮  
大家より錦程  
遼西地方は  
が等の客と  
一個小隊と出  
合一中隊と出  
西と攻撃せし

るのみにて何れも渡船を符衆とせる者あり平

其一行は直に上陸して先づ加那者を索  
めたるに彼等は已に逃亡じて其事に在らず七  
田の死体は殺害の時津中に投じたりとて亦  
見當らずせしめて之土田の荷物もがふと被遇此  
處搜索したるに行幸一個、雄辯七八貫八百  
七十文は彼の形見として彼が宿泊すゝ旅店の  
小間主陳しありたりと時には旗店の主人も皆く  
已に何れへか身を潜り居たりければ他の嫌疑  
疑者七名も捕へて同十日平壤引致し皆く解對せしめ  
取調べたるも何れも証據充分ならずしと以て江原に取  
り同廿一日悉く放還せり之より先き安番郡守  
も土田被害の事を相知し實地取調べの爲り二  
名の吏員も同地に派し居りしが右旗店の主人  
が逃亡は該吏員取捕の結果にあらずしかと  
疑はるゝ康有りしと云ふ

●高木喜氏の來訪 外務省領事高木喜氏は昨日  
對我公使を訪問せり多分先夜小村公使の館  
に係る李夏榮氏越別會の席に列したる客也ま  
らんと云ふ

以上三和等の地位に於ける兩地区は殊尤  
更へ平壤より  
三和等へ赴  
く輸送、編動  
の利便同  
江原に取  
留民引揚の空  
左の一  
野  
わくが  
之と保  
阿奇を  
光復  
日午四  
七谷







四月五日 午前十時 帆出  
群山木浦 濟州島 左水營 三

四月九日正午十二時  
芝罘 天津行

四月五日芝罘より入港四月六日出帆  
釜山 對州 長崎 下ノ羽 神戸 行

三月 日  
長崎 釜山 元山 神戶 行

四月七日入港四月八日山港  
釜山馬關神戶行

(上海ヨリ)四月十日入港四月六日出帆  
釜山 野馬 長崎 馬羽 神戸 行

日本郵船株式會社  
仁川支店

當店店名發以て總ての買入物等も買物帳では  
捺印ある証憑なき買物掛物及貸借は家族に隠  
るゝものたりとて一切當店の責任をきまると  
四方の諸在御勘者可被下候此段廣告仕候也

長里商塵

續第七十  
九號地

●大朝鮮國學部編輯  
局編纂書籍販賣廣告

今聲에學聲에서大韓鮮國學生들이  
아름답고정돈은미모에서販賣하  
기에學聲에서가치를바닷스오니  
聲聲의  
名聲라自今以後로云

우리 商店으로 在臨하시기를 祈願함  
사시라거던 四方諸君子는

書籍目錄은거번부터漢城新報에記載  
學師證書와같은

西洋貨物各色  
雜貨各色  
紙類

丸屋商店主人金澤末吉

獄

統

f

13

品

サアサア皆さん御評判且御望の税  
金拾貳万余圓職工壹万余人東京銘物  
天狗煙草製造東京銀座岩谷商會が大  
坂へ支店を設け渡邊榮次と申者支配  
人とし各地御愛客様の御便利十二分  
可致候間永當々々御品評願上

東京銀座三丁目  
岩谷商會  
大坂西横堀東上欄南角  
岩谷商會大坂支店

第五拾八國立銀行京城支店

一當座預金

一、當座預金

此取リ金六圓以上以テ出入シタルハ一口金五圓以上  
何種ニテモ如前ノ可申候

一定期預金

一貸付金

一手形割引

一送金（送金共付）

●貸付金利息及び公債等ハ額を低廉ナリ以テ知便利ニ取扱可申候間  
金額ノ多少ニ係ハラス御申込被下度候

爲換取組先

仁川 釜山 長崎 福岡 馬關  
神戶 大阪 名古屋 横濱 東京

岩谷商會

大支店

[illegible]

此書合三冊收裝號十八從來不愛刻諸彥（各自  
同版可致應勿失入照紙上）以之知印中陳按

木村健夫 店

會覽博大學齒牙班西 會覽博業初國內

牌寶銅公牌寶

會覽博太因齒牙班西 會覽博紫粉國內

牌寶銅受 牌寶

**甲斐國**  
合資會社  
**豐南酒造**



○第一甲斐產葡萄酒ノ特効

葡萄酒ハ衛生上缺クベカラサル好飲料タルコハ諸大醫會之シテ鉅サ、ルナレ然レモ其  
ノ酒質若シ善良ナラバ却テ人ニ害ヲ害スルハ實ニ俟ス第一甲斐產葡萄酒ハ特ニ酒質  
最モ注意ヲ加ヘタルハ衛生上特効アルコト實ニ明ノ如シ人若シ常ニ此第一甲斐產葡萄酒  
ヲ適宜ニ飲用シ善ク其量ヲ節スルコト於テハ血液ノ循環ヲ善クシ機能ノ調理ヲ促シシメ  
貧血ナリトシ體弱ノ衰衰ヲ助ケ精神健チ衰衰ノ胃腸亦強健ナラセテ消化力ヲ助ケル爲  
メ食慾ヲ振起シ全身體ノ快活ヲ覺ユルコト妙ナリ即チ適度ノ運動ヲ爲ス人若クモ亞細亞  
勤ニシシキ人若シテハ平常筋骨ヲ疲スル人ノ如キ居常此第一甲斐產葡萄酒ヲ少量地用  
ヒテ怠ルコト無レバ其體格ヲ強スルコト疑ナシ又第一甲斐產葡萄酒ヲ醫用トスレバ專ラ左  
ノ諸症ヲ醫ス

第壹 紫斑病。其他種々の原因より赤血球症。急性血球後ノ回復期。赤血球症  
府症ノ用ヒテ最アリ。小兒ノ吐瀉症。皮膚病。赤痢症。大出血候等ニハ心腹ノ機能弱サヲ遏止セシメ  
トスル最良ナルモノニヨリ血球モシムンバ音効タラス  
第貳 熱病。事實失調。膿毒症。瘧疾。肺炎肺炎及ヒ熱ノ發ル關係。發熱機弱等ノノ

朝鮮國一手販賣  
京城總代理  
限本商行

○第一甲斐産葡萄酒特效

이로도 주린 술이 사람 위생(生命)을 호위(護衛)한(하는데)가 하업지 못(도) 존  
술인 줄은 모든 대방(大邦)의 원(元)달(達)이 기(記)하(하)는 바이니 만일 그 술 비존(非存) 바탕이  
꽃(花)치 아니하면 었지 이(이) 곳(곳)으로 여(여)히 가(가) 잇(잇) 술(술) 말(말)하(하)지 아니하여  
도 알(알) 것(것)이라 이 제(제) 일(일) 만(萬) 술(술)은 가(가) 장(장) 그(그) 빛(빛)은 지(地) 료(料)에 정(正)성(性)을 드러서 그 위  
생(生)에 효(效)험(驗) 잇는 것(것)이 신(新) 흥(興)하니 사(사) 례(例)이 만(萬) 날(日) 제(제) 감(甘) 비(比) 산(山) 포(포) 주(周) 료(料) 상(相) 하(하) 마(마) 시  
되(되) 랑(랑) 에(에) 못(못) 장(張) 복(복) 하(하) 면(면) 과(과) 혈(血) 에(에) 순(順) 화(化) 되(되) 기(기) 가(가) 요(要) 하(하) 며(며) 과(과) 목(木) 能(能) 에(에) 도(도) 리(리) 하(하) 기  
가(가) 온(溫) 전(轉) 하(하) 며(며) 혈(血) 본(本) 부(부) 주(周) 존(尊) 것(것) 술(술) 보(보) 하(하) 며(며) 골(骨) 류(類) 에(에) 영(榮) 위(威) (榮華) 돈(敦) 도(道) 으(으) 며(며) 정(正) 신(新) 이  
셔(셔) 러(러) 상(相) 케(케) 하(하) 고(고) 비(比) 위(威) 가(가) 또(또) 만(萬) 장(張) 하(하) 야(야) 식(食) 량(量) 이(이) 늘(늘) 고(고) 정(正) 신(新) 이(이) 스(스) 스(스) 로(로) 쾌(快) 환(환) 하  
기(기) 가(가) 정(正) 명(明) 하(하) 니(니) 이(이) 려(려) 으(으) 로(로) 서(서) 유(有) 고(고) 을(을) 과(과) 도(道) 이(이) 하(하) 던(던) 사(사) 례(例) 이(이) 는(는) 날(日) 마(마) 드(드) 거(거) 지(지) 에  
안(安) 전(轉) 서(서) 힘(力) 보(保) 출(出) 제(제) 하(하) 던(던) 사(사) 례(例) 이(이) 는(는) 평(平) 성(成) 에(에) 근(近) 골(骨) 윤(潤) 유(有) 고(고) 로(로) 이(이) 하(하) 던(던) 사(사) 례(例) 열(烈)  
이(이) 거(거) 상(相) 에(에) 이(이) 第一(第一) 甲(甲) 位(位) 萬(萬) 物(物) 을(을) 보(보) 면(면) 이(이) 우(優) 히(히) 서(서) 러(러) 가(가) 지(地) 병(兵) 제(制) 심(心) 하(하) 맛(맛) 당(當) 하(하) 니  
혹(혹) 장(張) 복(복) 을(을) 하(하) 면(면) 그(그) 공(功) 이(이) 크(크) 게(게) 나(나) 기(기) 가(가) 의(義) 신(新) 업(業) 고(고) 도(도) 의(義) 원(元) 달(達) 이(이) 술(술) 발(發) 여(여) 러(러) 가  
지(地) 병(兵) 에(에) 쓰(쓰) 니(니) 그(그) 씨(子) 는(는) 씨(子) 을(을) 이(이) 으(으) 리(리) 제(制) 노(老) 라(라)

第一은 화달병과 열분부주호변과 증변후소복과  
요증지절등에 공효가 유이하고  
第二은 소변의드사증과 괴질과 전혈니질과 하혈증과  
장부에병이서정신부족한 에 공효가 유이하고  
第三은 열분부주호변과 증변후소복과

으로 폐경노막과 장부노막(癆瘵)등병에 공효가 모다 적지 아니하오이다

朝鮮國京城洋酒都賣隈本商行

鑄洞(뉘작굴) 一手販賣

農  
行

將軍將店ニ於テ隠居スル人物ハ  
 犯殺ノ物ニアラザルハ第店ハ一切其近ニ任セ  
 ス候也

吉田尼親

市川旅館

今般本院은朝鮮人病者의便宜함을위하야  
朝鮮語를通하는醫員을聘入하오니病者는  
々히나와調治하시요但處方者는病家로  
가셔診察하며左程도注意함

贊化院醫長 古城梅溪

日局方  
和漢洋藥廣賣

一、賈勉強仕候間不相顧多少、不限御注文  
御用ノ釋快ヲ希尋仕候  
日本大坂

成尾安五郎

新着荷廣告

帽子、手袋、手甲、靴、  
下、衣、夕、几、防

寒具一切上等仕  
人丈、舶來紙類及

狀、洋蠟及和蠟、

印之凡茶正喜撰

明治廿九年一月廿四日南大門通

田村商店

移轉廣告

一種海洋藥及海洋類金

本行事務從米江湖ノ御座リ以テ繁昌致シ候

有仕合ニ御座候然ルニ今般商品貯蔵ノ便ト御  
得意様ノ御都合トテ圖リ移轉致候間一層ノ御

元泥親第二十九號

反硝子大中小色令

右新着廉價販賣仕候條

多少に不係御用初仰ふ  
度奉願候也

京阪  
泥規  
鈴木大阪堂支店

三十一一  
國個  
月月次  
七貳貳  
拾錢  
拾五五  
錢錢錢

六個月 壹圓參拾五厘  
五個月 貳拾字時壹行壹回金六  
錢且し行數及回數以上より割引仕

料金は憑證前並にて可申受候事  
及行旅印割人 在 林 田 人

發行所 東京印刷部合資印刷  
島田 廣 堀 人

發行所 涉坂新報社







送李公使序

駐日日本國公使李氏...

夫邦國之興衰...

雜報

●中太領事이라...

●江蘇鐵道이라...

●鐵道人이라...

●鐵道人이라...

●鐵道人이라...

오호! 라 설라 국도...

오호! 라 설라 국도...

오호! 라 설라 국도...

오호! 라 설라 국도...

오호! 라 설라 국도...

그러한즉 나...

그러한즉 나...

그러한즉 나...

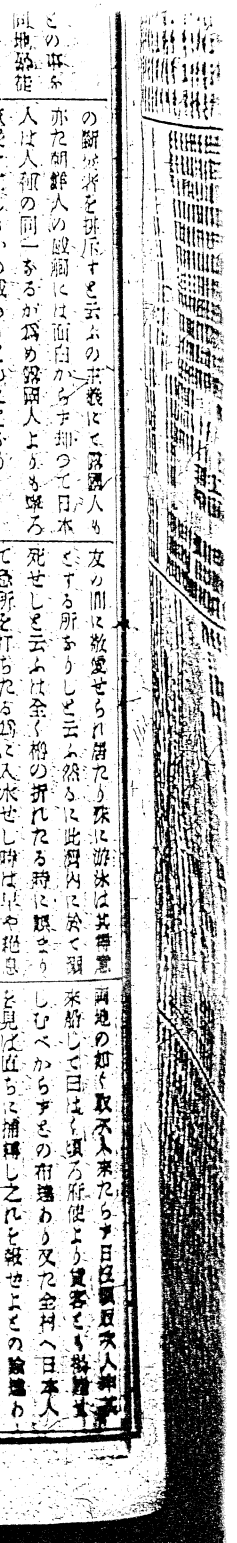
그러한즉 나...

그러한즉 나...

任親... 免本官... 解... 任親... 免本官... 解... 任親... 免本官... 解...



▲併駕齊飛 北緯地方に於て頼りに日本人の護衛を試み日本人は固辞せず密の要人あり密使の主張者あり租税増徴の煽動者ありと云ひ觸らし居れるも彼れ朝鮮人は獨り日本人のみを改むとて日本人に對して



の斷を排しと云ふの主義にて露國人も亦た朝鮮人の威嚇には面白からず抑つて日本人は人種の同一なるが爲め露國人以上も露國氣受け宜しきかの感ありとのことなり

友の間に散處せられ居たり殊に游泳は其得意とする所ありしと云ふ然るに此國内に於て溺死せしと云ふは全く稀の折れたる時に際せり急所を打たる爲に水に溺れし時は早や絶息し居りたるならんとの説あり本月は小倉縣長始々將校下士等一同其板を渡して上陸し海軍基地にて盛する葬儀を営みたり

兩地の如く取入来たらす日恒價取入来本船に於ては日恒價取入来客とも船客とも稱しむべからずその布達あり又た金村へ日本人を見れば直ちに捕縛し之れを殺せよとの諭達あり尤も府使の命令は右の如くあるも表面は然らず全た日本人の上陸して地客に罹ることを憂ひ居れりと云ふ一説に府使は原船に幽せられ動くこと能はず命令布達に府使の署名あるも皆々人民より追つて之れを捕まじむるものあり或る地に落ち延びて脱れり以つて荷くも身命を全ふするものなり如しと

▲邦人の首級 通川附近に於て兇刃に斃れたる邦人の首級四個及び朝鮮總督の首級一個は新坪嶺古鎮の露軍陣跡にて発見し去る二十三日當地へ送り直ちに火葬せり其の首級と殺せしに眼珠を抉り取り鼻、耳、唇を截り去り實に目も驚てられぬ程の殘酷を極む以つて露軍當時の慘狀を推想するに餘りあり

▲阿比洞の慘死に就て 我が電信守備隊の通辨として可異方面に赴き居りたる阿比洞留營太氏が慘死のことは前報に之れを報する所ありしが其の慘劇の所を據れば去る二十一日の夜其の守備隊兵數名と共に偵察の爲に可異の西方約二十餘町の處に至りたるが折しも多數の露兵に襲撃せられたる然るに憲兵隊は奮然し居りたるを以つて漸く血を格と闘ひて奮然し得たれども阿比洞留營太氏に捕はれ居りたる爲に成る一露兵に取圍まれ力に依り今は是迄でありと決心し殊死奮闘力の有らん限りは反抗を以てみたる由れども露軍數人終ひに露兵の爲に擊殺せられたる

▲通川 利川郡の通川は北滿沿岸中流上の良港にして米谷不絶の形勢見へざるも居民一校奸賊の風あるを以つて早晚露兵が警備に専するならん

▲露兵の服裝 元山附近の露兵は服裝を一一定して上着を黃色にし袴を白色として一種の異裝と爲し居り

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし

▲露兵の軍隊 我が軍の新坪嶺に陣するや安平郡守は總督府と聯して避難せり又た通川府より發したる機文は其の主意十七團所より日を期して元山を襲撃し一舉日人を排逐せんと云ふにありて類りに北方に向つて傳遞し居りたる我が兵に察知せられたる

▲露兵の軍隊 去る廿七日午後八時頃當該山坂の下露軍野戰の朝鮮飲食店へ五名の朝鮮人來り酒席を設けたり該店主人に向ひ露兵に照會他他官軍の住宅保護及家族の員數其の出生の籍里等と詳細に聞き訊して一々其手帳に記する其後如何なる由則の主人は露兵の去りたる後如何なる怪しきものぞ露兵に對して監視するもの地味を告げたるも何れへ行きしか更らに分からざるなりと云ふ

▲利川 通川郡の利川は平野にして本船の出入り船舶は直に入夫を搭載し來たり投錨と待つ以て通川附近にして他岸其比を見ざるし



近、矢作、**木村健夫**支  
ノ、以、來、親、一、手、辦、約、販、賣、茲、候、間、不、相、檢、閱、受、顧、奉、

...

合覽博大國萬牙班西 合覽博業粉園內

牌賞銅受領 DAI NION



第一甲斐產葡萄酒

第一甲斐產葡萄酒ノ特効

葡萄酒ハ衛生上缺クベカラサル好飲料也...

朝鮮國一手販賣 京城 限本商行

第一甲斐產葡萄酒ノ特効

이포도유란 술이 사물 위신(수영을 조취한) 하도...

第一은 韓國酒과 鮮果부족을 보아...

第二은 소(小)의 토사증과 疳積과...

第三은 疳積과 嘔吐와 腹瀉과...

朝鮮國京城洋酒都賣 限本商行

廣告

三月廿一日 市川旅館

贊化醫院長 古城梅溪

成尾安五郎

平川武右衛門

渡邊宇山

移轉廣告

限本商行

鈴木大阪堂支店

發行所 漢城新報社

漢城新報

隔日發刊

獨立新聞發刊

人之身。四肢百骸皆備。耳目之官。而四肢百骸皆有其用。國之有民。譬猶人身有四...

雜報

● 慰勞之勸及獎金
작년회로근구부... 로고문관이되야...

日本人慘死詳報

(東京馬場町之四死)

지난달을십이일에일본물수... 심오명이... 되었다는일은...

日本人之首級 四個

通川 근처에서... 日本兵時縣人火久保...

日本人二名生死 不明

日本兵時縣人火久保... 同地人山口久次...

又日本人之遇害

함경도함흥에서일본行商者一名이... 도외계殺殺되고...

● 日本人士田原虎藏被殺之實況

野州州人士田原虎藏... 被殺之實況... 日本人士田原虎藏...

李二個... 李二個... 李二個... 李二個...

페의당을호언자도잇거늘페의당이  
이셔루의논하여힐문코자할시그  
두어사름을보드리다취망하여도모  
다그갓슬버셔바리고글욕자아니할

그날 오후 3시에 저 글은 완성  
여가 술을 마시기도 다련법이 있스리라  
하고 부인이 조금씩 질하니 료란하세지  
저리기를 받중에서 지니라

호변은 남월이 십팔일에 호계가 무로  
이지니다가 천구세사롭과 더브러  
물에 비라고 놀다가 호계가 여러사  
다러 일노코온디 물에 선류호년자

멀이사름마다 화요시절 닻 두 거 놀나  
는 훈노 내기 물세 모훈 역경치만  
지 못하 다 하 나 일노써 보 면 가 히 그

거슬을지모다  
효제가 교유하기를 심히 열게 하노라  
그 친구에 집사 롬셔지도 열게 하더라

요가 사람의 소장을 칭찬하기를 들으  
하야서 무릇 일을 당하여서 사람이 나  
보다 나은 것이 있으면 반드시 물어서  
배우고 사람이 부족한 것이 있으면  
노력하여서

고개가 사뭇 높을 접디 하기를 잘 하외서  
근심이 차저 오든 자잇스면 온일 하

土  
寺

地方購讀諸君  
便利

巡線沿道諸君은新報  
部衙門에서認可되앗스리郵

價一朔一兩二錢五分  
郵遞稅七錢五分

|             |        |
|-------------|--------|
| 新聞紙價目(정일발간) | 一錢三分   |
| 新聞紙一張價      | 一厘二錢五分 |
| 一週間 先給      |        |

|        |         |
|--------|---------|
| 三新同 先給 | 三兩五錢    |
| 六兩同 比給 | 六兩七錢五分  |
| 地方同 比給 | 每月兩兩七錢五 |
| 地方同 比給 | 每月兩兩七錢五 |

슬덜박고 此廣各價금으로 도선  
로박스옵



雜報

●新法律之發布

지작일관보에이외구심삼호로  
勸諭로만포되얏스니죄와역함  
짐이적도쳐단예에관한것을지  
가야만포케스노라

대군주 역함 어시  
건양원면수일일일

법제第二項  
第一條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第二條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第三條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第四條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第五條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第六條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第七條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第八條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第九條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第十條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第十一條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第十二條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第十三條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第十四條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第十五條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

第十六條 地도조각의수종으로分할  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝  
一 地畝

●伊太利全國之大激大沸鼎

(續)

▲이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다

나를 통일하며 정국을 안정시키  
는 것은 국민의 본분이 되며  
정치가 이고 그 외에 다른 것은  
아니다

이탈리아의 대변동은 이제 정국  
은아비시니아(사해에 접한)에서  
모든 군벌을 통일하려고 노력하는  
하얏다



一昨日官報發外と以つて又た左の昭勅を發せられたり

今さ幸井返の疏を見るに是れ妄りに託して  
事を言ふものなり昨年八月の事漢方に亘  
て無き所の一大逆變にして駭々として聞  
かし現今妖賊已に法に伏す將に以つて更新  
政を圖らんとするの時あるに渠れ蠱鼠の類  
を以つて安りに恃義と給す苟くも其の由を  
究めば必ず其陰謀あらん極めて痛恨とす  
其の原流は之れと却下し法節に令して全覆  
懲せしむ

建國元年四月六日奉 敕

宮内府大臣

右 郡縣内に見ゆる李升達なる者は匪類主事にして通教地方制度調査員をも命ぜられたる人を其如何なることを上疏せしやは知らざるも只た言論の政府の忌諱に相れたりごて我れが爲めに拿預懲禁するに至るが如きは如何に憲法政府とは云ふ能くは言論の自由を蹂躪したるものと謂ふ可しな

●山縣大使の消息は

山縣特派全權大使の一行は去二十七日正午桑港に到着の旨去A三十日夜外務省へ來電あり

●京仁間鐵道敷設  
の契約條件

英國モリス会社が京仁間に鐵道と敷設せんと  
し其の特許を得んが爲め目下外務省と陸奥中  
の如きは前條に記せしが之れに關しては頗  
大匠中一二の異論者無きにあらざるも其の多  
くは之れと許可せんとの意見に傾き居る由き  
れば其の契約の圖印を下るは近きに在るべし  
而して其の契約條項の如何なるものなるやと  
未だ之れと確知するに由かして雖ども其の要  
大坂迄の如くあるべしと聞

契約四甲の日より三ヶ月以内に起工する

事 契約圖印の日より向ふ三ヶ年以内に竣工

する事

有し十五ヶ年後に至れば朝鮮政府は敷設當時の實費を以つて之れを只上ぐるを得る事

右の期限内にキース會社は相當の利益を収むる時はさるべきは續は七ヶ年間其の所有權を繰換し得る事

前記は前號にも記せし如く阿含社は去る二十一年以海青三之れが計畫を爲し其の線路の如きも數年前已に略ぼ之れを實現せしことある由もれば尙も起工の境には三ヶ年は尙も多分一年餘にして竣工を告ぐるに至るべく其の竣工の期限を三ヶ年とせざるは萬一の政府と盧かりてなるべし又たキース會社の仁川代理店は英の「ダウ・メ・センド」商會内に在りとのこと

●本邦人士の行衛不明 山口縣人と山崎松と云ふは同縣人爲津宅衛門と内地行商の爲に商品と携へ本年一月十九日釜山より鮮山地方へ越き一度顯元へ會信せし後、は龜く皆沙汰あかりしも同允にては矢張、無事に商業と營業の爲るを至るまで安心し居たるに先月劉發令が爲るに至る處人心不穩の概頗る有り別府に全籍忠清二道の人民は痛く、本邦に嫌はしき加へんとする概頗る有るよう本邦行商所者は悉く釜山或は仁川等に引揚が來るしが獨り上田顯松は其所留地たる釜山へ歸り來るやう以前顯松を雇ひ居りし釜山の某は君に仁川へでもと去三日同港へ入港せし、旋後川に於て當地に來り全籍忠清府より引揚が

來りし人々に就き榎松の消息を問はれたるも、知る人絶へてあきらむる止むなく、右の事警察署へ届け出でしと警察署には説を提び、如く話せられたるに、彼に拾得可きにもあらず、所屬等而下十名の巡査及朝鮮巡査三名とて、同地に派遣せられたる、右の人々は一昨朝出帆し、海船號にて出發せし由

●廣乙製引揚人夫の遺囑に就て

國乙引揚人夫の事に就ては再度本紙と記載  
 する處ありしが今之に就き一説あり即ち高  
 野園松井三右衛門が故郷の爲に赴いたる船松の  
 被砲したりと云ふは如き小屈は幾度居たり小  
 屈し解たるものにして安福等は此翌日徳松等  
 を捕斃したる船と見て是れ之徳松等の船なる  
 も以て徳松等は必ず暴徒に殺されたるものと  
 考へて自ら小屈を燒き長崎に逃げ逃れ去りし  
 るにばあらざるやと謂して過日野州より  
 川へ來りし中野氏の持船は全滅したる小  
 船に居たる三名の本邦人に合したるものと  
 考へるが其際等は其同伴四名患瘧症にて暴  
 の爲めに殺され我等は讀み此の處まで讀ん

●平壤歸客の談

▲平壤内外人民の意圖

我れに依頼して其の生命財産を全せんぞし  
 「昨年日清戦争以來難を避く地方に逃げ居る  
 たる商家の如きも我れを頼みて俄かに歸來し  
 餘徒の侵蝕を免かんとせしものも尠から  
 るが我が在留民一同の引揚ぐることをあ  
 るや被れ等の多くは又た一地方に逃避せよ  
 と云ふ然かるに、被外の人民は兎憚頑愚の徒多  
 く従つて我れに對し惡意に懐くものも尠な  
 かりし固より被れ等も我が勇武を目撃するもの  
 られば外間の煽動緩急等の有るに非ざるよ  
 りは容易に我れに對して暴發するが如きこと  
 無かるべしと雖ども我が商民の單身被外に出  
 でたるとき之れに危害を加へ或は夜中本邦人  
 の住居に石を投じ若しくは放火せんとしたる  
 ことは已に其の例一二に止まらず斯くの如き  
 經驗艱劣の手段は今般に増長すべき勢ひも  
 有りたれば其の被害の未だ被だしからざるに  
 早く一同の同地を引揚げたるは寧ろ其の時を  
 得たるものなるべし而して被外の人民が被内  
 の住民に對する惡感憤恨は更に甚だしきもの  
 あり、被れ等之被内の人民が我れに對して厚  
 意を表するより之れを憎み目して豚と嘲り日  
 本人の同地を引揚げたる上は大衆暴動して豚  
 肉と屠戮すべしと公言し居りたりしとぞ

▲平壤に於ける支那人  
 吾等平壤に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の厄介となり茲に漸く一夜の宿を與へられ  
 今日にては支那人は平壤内一步をも踏み込  
 めざるありされば我が在留商民一同全地  
 引揚げたゞと雖ども其の間に於て假かは一  
 我が手にて掌握したる商標と清商と琴はる  
 其のことは萬之れ無かるべし

▲被外に於ける支那人  
 被外に於ける支那人の無力であることは  
 既に述べたべきものあり被れ等は最早平壤に於  
 ける何事をも爲し能はざるのみならず如何に  
 爲す精銳の世とは云へ一昨年斯うして大國入  
 として禁教されし身の今日は其の曾つて奴隷  
 如くに取扱ひ居りたる朝鮮人民の爲めに糊  
 口謀生せらるゝに至りしこと氣の毒なれ現に  
 秋以來支那人の内地行商として同地に至り  
 るもの尠からざる由あるが何れも韓人の  
 りに散々に監禁嘲笑せられ果ては同地に出  
 づるに居りたる我が警官の慈悲に依り朝鮮警務  
 の

▲我が在留商民の損害

● 取用する複製する 係 生じ物品金銭等も通  
● 半蔵宛外に存在せるもの少をからず返さ  
● 平蔵、黃州、遼陽、鐵嶺、錦州諸の他今回の  
● 捕地に涉り所たりて然るに今回の引換は  
● 捕獲の事案に會し出資の用に至らず

● 第二條乃至第  
● 第六條  
● 死刑執行、  
● 下は於ては殺害  
● 例と規定せる  
● 之類の日よ  
● 刑律各例の  
● 以て之類布  
● 重を規定した  
● 其刑律は死刑  
● 十五年  
● 二十日間の十  
● 減して十に至  
● 在該警察官の増

（せんぞ）  
に逃げ居り  
に如來し  
勝から  
ことにお  
退避せし  
愚の徒多  
も融なか  
するもの  
らざるよ  
如きこと  
の家財に遺棄したるもの勝からち郊外の  
危險地に存在せる食糧商品の如きは或は暴徒  
に奪はれ或は保管者逃走し或は債務者踪跡と  
失し而して出救の行商亦多く暴徒の追害を免  
ひ逃げ退へたるが故に實地に就て搜索整理  
するに由なく皆を喪失に歸せし由なるを以つ  
て此れ等と合算すれば我が在留國民被る厭々  
少々ならざるものあらん右は目下同地を引揚  
げたる國民等仁用に於て調査委員を發給精進  
の調査に従事し居れりとのことされば還から  
ずの發表と見るに至るべし（本題未完）

中本邦人  
としたる  
の如き  
き勢ひも  
らざるに  
其の時  
我が國內  
にきもの  
對して厚  
く期す日  
摩して疎  
しとぞ

據て當地一部の朝鮮人及び外國人の間に社  
會中あらし獨立新聞と名づけられたる英韓二  
文を以つて綴れる一新聞は愈々一日目を以つ  
て其の第壹號を發行せり吾人之假令其の全部  
とは云はざるも現に角朝鮮人の手にて新聞を  
發行するに至りたるが如きは當國社會進步の  
一兆候として之れを祝し且つ此の新聞が當國  
社會の上に對ふるの利益少くならざるべきと  
信するものなり其の發刊の主旨を聞くに曰は  
く獨立新聞は不偏不黨常朝野の間に立ちて  
上意を下達し下意を上達すると以つて其本領  
と爲し政府に失はれれば之れを非難するを懼

ることばに窮蹙せし又た曰はく其の英支欄には朝鮮半島に於ける商業、政治、文學、歴史及び美術等如何に支配せしむる朝鮮の事情と對し於外國に於ける大國人へ朝鮮と諸外國との關係を親密からしめんとつて教謀とて期し茲支欄には外國に於ける歴史、化學、美術、宗教等を登錄し以つて富邦の確實ある爲りに期す

次に現に遼東と謀らんとすと言人は其の主旨の吾人が地に至り平生執る所の意見と略ぼ一致の點に於て好む韓人の國の其友と得たるを喜ぶ點には相共に賛同し同地に於て讀分を全ふせん、因みに記す獨立新聞は朝鮮野驛 每週火、木、土曜日三回の發刊にして定價は壹枚壹錢壹ヶ月拾銀錢なり又た其の一面は英文刊と、二面は漢字刊と、三、四の両面は感

●**贓盜罪罰例の發布**　一昨日法律第二號と  
以て、**贓盜罪罰例**を頒布せり此は贓盜の極重、  
其罪目及之に該當すべき律例を規定したるを  
以て十九條より成す、其罰則に因くは贓盜  
を強盜、竊盜、竊主、強盜、竊盜を教唆、指使せし  
者の類一、強盜、竊主、強盜、竊盜の四種に分ち  
第二條乃至第五條に於ては以上四種類の重義  
を下し第六條に於ては竊盜例と分ちて杖刑、  
笞刑、役刑、役刑、笞刑の五種とし第七條以  
下は於ては贓盜の罪目及び之に適用すべき律  
例を規定せるものなり猶ほ附則として該法律  
之頒布の日より施行すべきことを附加せり

●**刑律名例の頒布**　是れ亦一昨日法律第

刑律、死刑、無期徒刑、有期徒刑、拘役、罰金等も應に改定せらる。其の例として、**死刑**は絞首刑を以て規定せらる。計は重に刑律の廢止及輕重を規定したるものにして本文三十條より成る。其刑律は**死刑**、**流刑**、**役刑**、**管刑**の四種、**流刑**は終身、十五年、十年の三等、**役刑**は終身乃至二十日間の十七等、**管刑**は一百より十數を越して十に至るの十等に分けり。

●在職警官の増員　朝鮮居留地取締費増加の件は今回追加豫算へ挿入せられたるが是は當邦在滿の警察及び監督の數を増す事にて特別に比喩されざるの如し。

|    |    |    |     |    |
|----|----|----|-----|----|
| 龍山 | 谷山 | 仁川 | 京畿  |    |
| 巡警 | 巡警 | 巡警 | 巡警  | 巡警 |
| 八  | 十  | 十  | 二十六 | 現  |
| 人  | 人  | 人  | 人   | 在  |
| 三  | 二  | 二  | 五   | 改  |
| 十  | 十  | 十  | 十   | 正  |
| 人  | 人  | 人  | 人   | 人  |

●製造所と外國人  
今日本邦に製鐵所を設立することになりしは、就くは外國人の日本に於ける製鐵の結果に就き注意することには、殊に鐵業に對する注意とあり、尙ほ其しき形勢なりと英國在留本邦貿易より、彼方に曉せし書信に見ゆ。

●**奔馳補佐官の増朝** 奔馳法部補佐官は其の職を辭し一昨日歸朝の途に就けり

●**歐洲再航の郵船** 日本郵船會社第二回歐洲航は來る十五日和泉丸を發せんことに決し香港は土佐丸と同様に於て香港へは出死船流行の爲め香港せざるよし

●**其からざらんを慕む**

數日前の事ありとか、警務官一名巡檢二十名并り夜半新大關の門前中部調に來り該調を取圍みしと見へしが相なりと其内にて最も門構へる壯大なる家に闖入し直に内房に駆け入れり此處には二者の婦人今しも熟睡したる程ありしが此物音に驚かまれ目覺めしに一

を捉へ刀と頼部は押し當てた。にを其處へ上  
 之は度々落き氣配の体は見えずが他り一人の  
 婦人は之が爲に其を捕ふて曰へるよう夜中何  
 事あるやとは知らぬさも姿等は如本間の通も  
 らば眞實なく御存仕るべし此の婦人は今や希  
 さ氣配の有様をれば暫く許し給へと其意附  
 とも慇懃なりしかば然らばとて一人の顔は

婦人に向ひ主人娘博此衆に居る筈なり今何處に在るやとの問を發せり婦人は此衆に尹判官の邸にて主人尹判官は昨年己にのみさう今は蘇婦のみを住ひさし居る事なれば如何でか男子を留め申すべうぞと答ふ己にして一人の巡娘は他の婦人を指し放せて娘博の家に在りしやあらんと詰ければ其の時漸く蘇生したる者

の如く幸ひし婦人は茲は元々張大臣の家に在りてと符へしに多數の監檢突進に其婦人と稱し尋ね問へ引致した對て婦人の側近吾人固より其眞實を保護せられ若し果して斯の如き事有りとなせば嚴處の限りとなすべし

●帝國青年會の募會式 保ひて京城商會夜學校に於て計畫し居りたる帝國青年會は今日

去る五日を以つて其の發會式と京師華商高等  
小学校内に舉行したり今と其の模様と略記せ  
んに會館の入口には丈夫の國旗を交又し門前  
庭廣く球壇を備したるをせば一段の光景と云  
へば是期に先き立ちて會員其の他の來會せし  
もの多かりし午後六時に至りて先づ創立委員  
の一人たる右澤常吉氏開會の主旨を述べ次

創立委員建立之功、上村止已、村役會員高村  
英一、中島健三、生駒英太郎、丸山勝夫、村  
別會員根岸盛雄、鈴木定房、名譽會員根岸  
源次、諸氏引續き來れ、一席の演説を爲せり  
右の外村は演説希望者ありしも時間の切迫し  
たる爲り之れを次會に延期することゝ來れ  
より好意を表明し喜祭、上村の二氏之れと交  
留更人又は當日は餘り其の他の役員等も

●居留民戸口表 去月卅一日調査に依るものなり

| 性別 | 土族 | 平民 | 合計 |
|----|----|----|----|
| 男  | 10 | 10 | 20 |
| 女  | 10 | 10 | 20 |
| 男  | 10 | 10 | 20 |
| 女  | 10 | 10 | 20 |

地我居留民の戸口左表の如し

|          |    |   |    |    |    |
|----------|----|---|----|----|----|
| 北海<br>道  | 一三 | 七 | 四六 | 一六 | 八二 |
| 東京府      | 五  | 二 | 一五 | 一一 | 二三 |
| 京都府      | 五  | 一 | 三八 | 二一 | 五五 |
| 大阪府      | 二  | 一 | 九  | 三  | 一二 |
| 神奈川<br>縣 | 二  | 一 | 三一 | 六  | 二九 |

|     |    |       |     |     |   |
|-----|----|-------|-----|-----|---|
| 香川縣 | 一  | 一     | 六   | 一   | 七 |
| 奈美縣 | 一  | 一     | 一   | 一   | 一 |
| 長崎縣 | 二七 | 一七一八〇 | 一五二 | 三七六 |   |
| 新宮縣 | 一  | 一     | 三   | 一   | 四 |
| 埼玉縣 | 一  | 一     | 二   | 二   | 四 |
| 富山縣 | 一  | 一     | 一   | 一   | 一 |
| 作馬縣 | 一  | 一     | 六   | 一   | 六 |

|             |        |             |             |             |             |             |
|-------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 千<br>乘<br>縣 | 吳<br>縣 | 楊<br>木<br>縣 | 蘇<br>井<br>縣 | 三<br>重<br>縣 | 愛<br>知<br>縣 | 井<br>田<br>縣 |
| 一           | 四      | 一           | 一           | 一           | 二           | 一           |
| 一           | 一      | 一           | 一           | 一           | 一           | 一           |
| 二           | 一      | 二           | 七           | 四           | 〇           | 七           |
| 一           | 一      | 一           | 二           | 二           | 一           | 一           |
| 四           | 四      | 二           | 〇           | 七           | 三           | 九           |

|     |   |    |   |    |
|-----|---|----|---|----|
| 山梨縣 | 一 | 三  | 一 | 三  |
| 滋賀縣 | 二 | 一〇 | 一 | 一三 |
| 岐阜縣 | 一 | 一  | 一 | 一  |
| 長野縣 | 一 | 一  | 一 | 一  |
| 富山縣 | 五 | 一  | 一 | 六  |
| 石川縣 | 三 | 一  | 一 | 八  |
| 福井縣 | 二 | 一  | 一 | 一  |
| 金澤縣 | 一 | 一  | 一 | 一  |

|     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 山形縣 | 秋田縣 | 石川縣 | 島根縣 | 鳥取縣 | 岡山縣 | 廣島縣 |
| 一   | 四   | 二   | 一   | 二   | 三   | 六   |
| 一   | 一   | 一   | 一   | 一   | 一   | 一   |
| 一   | 五   | 一   | 二   | 四   | 七   | 二   |
| 一   | 一   | 一   | 一   | 九   | 八   | 三   |
| 一   | 八   | 二   | 西   | 入   | 三   | 三   |

|     |   |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|---|
| 和歌山 | 一 | 一 | 五 | 一 | 三 | 六 |
| 德島縣 | 一 | 一 | 四 | 一 | 三 | 七 |
| 高知縣 | 二 | 一 | 一 | 一 | 五 | 一 |
| 愛媛縣 | 二 | 一 | 一 | 一 | 五 | 一 |
| 福岡縣 | 二 | 五 | 五 | 八 | 二 | 六 |
| 佐賀縣 | 九 | 三 | 四 | 三 | 一 | 六 |
| 大分縣 | 二 | 二 | 一 | 一 | 一 | 三 |

|         |         |    |     |           |       |
|---------|---------|----|-----|-----------|-------|
| 戶數      | 二〇      | 六  | 六六  | 三七        | 一二九   |
| 富路縣     | 二       | 一  | 一   | 一         | 四     |
| 鹿兒島     | 一四      | 四  | 一九  | 七         | 四四    |
| 神戶縣     |         |    |     |           |       |
| 合計      | 一五四     | 五八 | 八六五 | 五五八       | 一、六三五 |
|         | (本月六〇八) |    |     | (本月一、六三五) |       |
| 人員      |         |    |     |           |       |
| (前月四〇〇) |         |    |     | (前月一、三四二) |       |

右の表に依れば四月に比し戸數に於ては二百八戸、人口に於ては二百八十三人と増せしは實に本月に入り張に右の如く増加せしにあらざして其多くは從前調査漏れと稱し居たる者なり。雖は右人員に電報に勤務吏、朝鮮政府の我國附官、補佐官及其家族等を加算せば電報所住の本邦人總數は實に一千七百三十名（男一〇七九、女六五一）なり尤も軍人軍屬及び其家族者は採入せず



一手持釣販賣其候間不相愛因受顯孝顯上陳

七年廣京城  
永ノ御愛顧  
シナカクモ  
勞ノ愛護ニ  
ノ勢ヒト三  
店レチ創設  
同屋ノ業務  
相常ノ人員  
支店ハ實ニ煩  
莫成ヘ各自  
申陳候

支店  
テコ  
ルネ  
上機

帝國醫科大學模範藥司御用

甲斐國 第一甲斐產葡萄酒

農商部

解 賞  
DAI. NIRON

陸軍部用



○第一甲斐産葡萄酒ノ特効

葡萄酒ハ衛生上缺クベカラナル好飲料タルコハ諸大醫哲之レテ計サ、ルナシ然レモ其  
ノ酒質若シ善良ナラバ却テ人体ヲ害スルハ實テ悞ス第一甲斐葡萄酒ハ特ニ酒質  
最モ注意ヲ加ヘタルハ衛生上特効アルコト實ニ神ノ如シ人若シ常ニ此第一甲斐葡萄酒  
ヲ適宜ニ飲用シ得テ其血ヲ純スルニ於テハ血液ノ循環ヲ暢クシ機能ノ調運ヲ得セシメ  
貧血ヲ補ヒ腦髓ノ營養ヲ助ケ精神弛テ爽快ニ胃モ亦強健ナルヲ得テ消化力ヲ助クル爲  
メ食欲ヲ振起シ全身自ラ快活ヲ覺ユルコトナリ即チ適度ノ運動ヲ爲ス人若クハ坐臥運  
動ニ乏シキ人若シテハ平常筋骨ヲ役スル人ノ如キ居常此第一甲斐葡萄酒ヲ少量用  
ヒテ忘ルコト無レバ其效力ヲ奏スルコト疑ナシ又第一甲斐葡萄酒ヲ醫用トスレバ其左  
ノ病症ニ適ス

第壹 製炭粉。其他種々ノ原因ヨリ來ル吐血症。急性血解後ノ回復期。癆瘵和癆瘵ノ  
府等ニ用ヒテ最効アリ

第貳 小兒ノ吐血症。虎刺刺。赤痢。大出血等ニテ心臟ノ機能降サニ遏止セシ  
ムル狀アリ。アルモノニ内服セシムル奇効ナキス

第參 熱病。胸宜扶弱。膿毒症。症熱。肺炎時及ヒ熱ヲ減スル隨傍。腸胃腸旁等ノ

朝鮮國一手販賣、京城總店限本商行

○第一甲斐産 酒の特効

이포도주란 술이 사람 위생(生命)을 보호(保護)하는(하는)게 하업지 못하도  
술인 줄은 모든 대방(大邦)가의 원(元)인이(인) 김(金)하(하)는(는) 바(바)이니 만(만)년(年)그 술(酒) 빚(빚)은(은) 바(바)라(라). 이  
술(酒)이(이)니 하(하)면(면) 어(어)지(지)이(이)고(고) 또(또) 리(리)오(오)도(도) 여(여)히(히)가(가) 있(있)을(을) 것(것) 술(酒) 말(말)하(하)지(지)아(아)니(니)하(하)도(도)  
도(도)알(알)것(것)시(시)라(라)이(이)제(제)일(日)을(을)기(기)는(는)가(가)장(長)그(그)빛(빛)은(은)지(지)료(料)에(에)정(正)성(性)을(을)드(드)려(려)서(서)그(그)위  
생(生)에(에)효(效)험(驗)인(인)것(것)시(시)신(新)중(中)하(하)니 사(사)람(人)이(이)만(만)날(日)제(日)갑(甲)비(比)산(山)포(浦)도(浦)주(酒)들(들)상(上)하(하)마(마)시  
되(되)랑(兩)에(에)고(고)자(子)복(福)하(하)면(면)다(多)혈(血)을(을)술(酒)화(化)되(되)기(기)가(가)요(要)호(好)면(면)다(多)들(들)을(을)도(도)리(理)하(하)고(고)  
가(가)은(은)전(全)하(하)며(며)혈(血)분(分)부(部)족(足)한(한)것(것)술(酒)보(保)하며(며)골(骨)수(水)에(에)영(營)위(衛)(營)도(도)으(으)며(며)정(正)신(新)이(이)  
서(서)러(러)상(上)괘(卦)하(하)고(고)비(比)위(位)가(가)도(도)건(建)장(章)하(하)야(야)서(서)식(食)량(量)이(이)늘(늘)고(고)정(正)신(新)이(이)스(스)스(스)로(로)괘(卦)하(하)  
기(기)가(가)정(正)병(病)하(하)니 이(이)럼(럼)으(으)로(로)써(써)수(水)고(高)들(들)과(과)도(도)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)남(男)마(馬)드(드)거(거)스(스)에(에)  
안(安)전(全)셔(셔)형(形)보(保)를(를)적(積)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)평(平)성(性)의(의)근(根)골(骨)을(을)수(水)고(高)로(로)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)  
이(이)거(거)상(上)에(에)이(이)제(제)일(日)을(을)기(기)는(는)가(가)장(長)그(그)빛(빛)은(은)지(지)료(料)에(에)정(正)성(性)을(을)드(드)려(려)서(서)그(그)위  
생(生)에(에)효(效)험(驗)인(인)것(것)시(시)신(新)중(中)하(하)니 사(사)람(人)이(이)만(만)날(日)제(日)갑(甲)비(比)산(山)포(浦)도(浦)주(酒)들(들)상(上)하(하)마(마)시  
되(되)랑(兩)에(에)고(고)자(子)복(福)하(하)면(면)다(多)혈(血)을(을)술(酒)화(化)되(되)기(기)가(가)요(要)호(好)면(면)다(多)들(들)을(을)도(도)리(理)하(하)고(고)  
가(가)은(은)전(全)하(하)며(며)혈(血)분(分)부(部)족(足)한(한)것(것)술(酒)보(保)하며(며)골(骨)수(水)에(에)영(營)위(衛)(營)도(도)으(으)며(며)정(正)신(新)이(이)  
서(서)러(러)상(上)괘(卦)하(하)고(고)비(比)위(位)가(가)도(도)건(建)장(章)하(하)야(야)서(서)식(食)량(量)이(이)늘(늘)고(고)정(正)신(新)이(이)스(스)스(스)로(로)괘(卦)하(하)  
기(기)가(가)정(正)병(病)하(하)니 이(이)럼(럼)으(으)로(로)써(써)수(水)고(高)들(들)과(과)도(도)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)남(男)마(馬)드(드)거(거)스(스)에(에)  
안(安)전(全)셔(셔)형(形)보(保)를(를)적(積)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)평(平)성(性)의(의)근(根)골(骨)을(을)수(水)고(高)로(로)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)  
이(이)거(거)상(上)에(에)이(이)제(제)일(日)을(을)기(기)는(는)가(가)장(長)그(그)빛(빛)은(은)지(지)료(料)에(에)정(正)성(性)을(을)드(드)려(려)서(서)그(그)위  
생(生)에(에)효(效)험(驗)인(인)것(것)시(시)신(新)중(中)하(하)니 사(사)람(人)이(이)만(만)날(日)제(日)갑(甲)비(比)산(山)포(浦)도(浦)주(酒)들(들)상(上)하(하)마(마)시  
되(되)랑(兩)에(에)고(고)자(子)복(福)하(하)면(면)다(多)혈(血)을(을)술(酒)화(化)되(되)기(기)가(가)요(要)호(好)면(면)다(多)들(들)을(을)도(도)리(理)하(하)고(고)  
가(가)은(은)전(全)하(하)며(며)혈(血)분(分)부(部)족(足)한(한)것(것)술(酒)보(保)하며(며)골(骨)수(水)에(에)영(營)위(衛)(營)도(도)으(으)며(며)정(正)신(新)이(이)  
서(서)러(러)상(上)괘(卦)하(하)고(고)비(比)위(位)가(가)도(도)건(建)장(章)하(하)야(야)서(서)식(食)량(量)이(이)늘(늘)고(고)정(正)신(新)이(이)스(스)스(스)로(로)괘(卦)하(하)  
기(기)가(가)정(正)병(病)하(하)니 이(이)럼(럼)으(으)로(로)써(써)수(水)고(高)들(들)과(과)도(도)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)남(男)마(馬)드(드)거(거)스(스)에(에)  
안(安)전(全)셔(셔)형(形)보(保)를(를)적(積)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)평(平)성(性)의(의)근(根)골(骨)을(을)수(水)고(高)로(로)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)  
이(이)거(거)상(上)에(에)이(이)제(제)일(日)을(을)기(기)는(는)가(가)장(長)그(그)빛(빛)은(은)지(지)료(料)에(에)정(正)성(性)을(을)드(드)려(려)서(서)그(그)위  
생(生)에(에)효(效)험(驗)인(인)것(것)시(시)신(新)중(中)하(하)니 사(사)람(人)이(이)만(만)날(日)제(日)갑(甲)비(比)산(山)포(浦)도(浦)주(酒)들(들)상(上)하(하)마(마)시  
되(되)랑(兩)에(에)고(고)자(子)복(福)하(하)면(면)다(多)혈(血)을(을)술(酒)화(化)되(되)기(기)가(가)요(要)호(好)면(면)다(多)들(들)을(을)도(도)리(理)하(하)고(고)  
가(가)은(은)전(全)하(하)며(며)혈(血)분(分)부(部)족(足)한(한)것(것)술(酒)보(保)하며(며)골(骨)수(水)에(에)영(營)위(衛)(營)도(도)으(으)며(며)정(正)신(新)이(이)  
서(서)러(러)상(上)괘(卦)하(하)고(고)비(比)위(位)가(가)도(도)건(建)장(章)하(하)야(야)서(서)식(食)량(量)이(이)늘(늘)고(고)정(正)신(新)이(이)스(스)스(스)로(로)괘(卦)하(하)  
기(기)가(가)정(正)병(病)하(하)니 이(이)럼(럼)으(으)로(로)써(써)수(水)고(高)들(들)과(과)도(도)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)남(男)마(馬)드(드)거(거)스(스)에(에)  
안(安)전(全)셔(셔)형(形)보(保)를(를)적(積)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)평(平)성(性)의(의)근(根)골(骨)을(을)수(水)고(高)로(로)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)  
이(이)거(거)상(上)에(에)이(이)제(제)일(日)을(을)기(기)는(는)가(가)장(長)그(그)빛(빛)은(은)지(지)료(料)에(에)정(正)성(性)을(을)드(드)려(려)서(서)그(그)위  
생(生)에(에)효(效)험(驗)인(인)것(것)시(시)신(新)중(中)하(하)니 사(사)람(人)이(이)만(만)날(日)제(日)갑(甲)비(比)산(山)포(浦)도(浦)주(酒)들(들)상(上)하(하)마(마)시  
되(되)랑(兩)에(에)고(고)자(子)복(福)하(하)면(면)다(多)혈(血)을(을)술(酒)화(化)되(되)기(기)가(가)요(要)호(好)면(면)다(多)들(들)을(을)도(도)리(理)하(하)고(고)  
가(가)은(은)전(全)하(하)며(며)혈(血)분(分)부(部)족(足)한(한)것(것)술(酒)보(保)하며(며)골(骨)수(水)에(에)영(營)위(衛)(營)도(도)으(으)며(며)정(正)신(新)이(이)  
서(서)러(러)상(上)괘(卦)하(하)고(고)비(比)위(位)가(가)도(도)건(建)장(章)하(하)야(야)서(서)식(食)량(量)이(이)늘(늘)고(고)정(正)신(新)이(이)스(스)스(스)로(로)괘(卦)하(하)  
기(기)가(가)정(正)병(病)하(하)니 이(이)럼(럼)으(으)로(로)써(써)수(水)고(高)들(들)과(과)도(도)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)남(男)마(馬)드(드)거(거)스(스)에(에)  
안(安)전(全)셔(셔)형(形)보(保)를(를)적(積)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)느(느)평(平)성(性)의(의)근(根)골(骨)을(을)수(水)고(高)로(로)이(이)하(하)던(던)사(事)람(人)이(이)  
이(이)거(거)상(上)에(에)이(이)제(제)일(日)을(을)기(기)는(는)가(가)장(長)그(그

朝鮮國京城洋酒都賣限本商行

鑄洞(듀작골)一手販賣

廣  
告

將來第店ニ於テ購求スル物品ハ第店賣物候ニ  
 配般ノ物ニアラサレハ第店ハ一切其責ニ任セ  
 ス候也

京湖泥鰍

三月卅一日

市川旅館

今校本院은 朝鮮人病者의 便宜함을 위하고  
朝鮮語를 통하고 醫藥을 聘入하니 病者는 醫  
方 하나와 開治하시오 但 重利者는 病家를  
가서 診察하며 左醫道도 隨行함

贊化醫院長 古城梅溪

● 日方和漢洋藥廣賣  
工用

各位ノ勤愛願ニ依テ増シ盛務奉厚謝候  
一層勉強仕候間不相顧多少ニ不限御注文  
御用ノ利快ヲ希望仕候

日本大橋  
東區道橋  
町堂丁目

成尾安五郎

廣告

明治二十九年四月五日

平川武右衛門

小生は急用有之本日出役歸朝可致候御卒の事  
なれば以紙上缺禮を謝す

東京中央新聞通信員  
渡邊宇山

知諸君

移轉廣告

一和漢洋藥及洋酒類卸  
小賣業

⑦張本商行

本行奉送江州ノ御醫ヲ以テ家君致シ候様  
有仕合ニ御座候然レモ今般精品貯蔵ノ便ト御  
得意職ノ御都合トテ圖リ移轉候間一層ノ御  
愛取ナドヒヌ

隈本商行

板すけ子大中小色々  
右新着廉價販賣仕候條  
多少に不係御用被仰仕  
度奉願候也

京都  
泥規  
鈴木大阪堂支店

[illegible]

發行所 漢城新報社



이러한 것이요 이점은 이태리국에본  
 명... (text continues with vertical columns)

물이란 사람이 구리 하얗든 마분  
 람... (text continues with vertical columns)

이... (text continues with vertical columns)

... (text continues with vertical columns)

... (text continues with vertical columns)

... (text continues with vertical columns)

先哲叢談 (續)

... (text continues with vertical columns)

... (text continues with vertical columns)

... (text continues with vertical columns)

社告

今日本社... 地方購讀諸君  
 便利... 農商工  
 部衙門... 認可...  
 遞線沿道... 諸君...  
 價一朔一兩二錢五分  
 郵遞稅七錢五分  
 ... (more text and prices)



● 廣東省長公署之教育 廣東省長公署下  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其

### ● 各府併合之議

향자에 任命된 것은 지방제도 조사를  
 이 조사하였던 소문을 드르니 廣東省  
 에서는 지방二十三府를 폐하고 새로  
 三府로 하기로 결정한 듯하다. 아  
 지방제도 폐합을 하고자 하는 이유는  
 리 하려는데서 다만 廣東省을 分  
 割하는 일은 지방정부에 대한 관  
 가 있는 거실 즉 廣東省을 分할 때  
 심치 아니치 못하리라고 배하여 그  
 의 廣東省과 지방관의 관제 하미나  
 하게 되어서 中央政府의 명령이 지방  
 에 통하지 아니하는 것을 배하여  
 조호리로다

### ● 京仁間鐵道築設之契約條件

● 京仁間鐵道築設之契約條件  
 京仁間鐵道築設之契約條件  
 京仁間鐵道築設之契約條件  
 京仁間鐵道築設之契約條件

### ● 日本人慘死詳報

● 日本人慘死詳報  
 (廣東省長公署之教育)  
 廣東省長公署下  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其

● 廣東省長公署之教育  
 廣東省長公署下  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其

● 廣東省長公署之教育  
 廣東省長公署下  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其  
 中學校及小學部均屬教育司管轄。其

文部主事叙判任官四等

산골잡지아니하니 친구들이 그곳은  
맛술향복후더라

(95)

산골잡지아니하니 친구들이 그곳은  
맛술향복후더라

의덕이 죽히호페고 혼이 곧 불을 만하  
다라

雜報

●大本營解散式  
大本營は御旗定通り本月一日を以て解散式を挙げて小松參謀總長閣下と始り西郷、大山の總參謀大臣、川上總參謀本部長、伊東、金部共并びに大本營附屬の海軍上長官は何れも午前十一時参内式に参りたが最中、大元帥閣下は少しく御風氣に置らせらるゝを以て出動せしめられしに承はれり

●大本營解散に付き左の勅語を賜へり  
大本營設置以來各段が意を盡し夙夜匪懈奮發進取を失はず克く今日の成績を擧ぐるを得たり朕は之れを嘉みす

●聯合の旗  
通敵任命されし地方制度調査委員の取調べし結果なりと云ふに聞くに調査員合にては現今の二十三府を以て其管轄區域を確立聯合し是れ固より地方の政務を整理せんとの主意に出でたるが所ならん府郡の分合の詳確の如きは地方政治に大關係を有する者なれば之を實行するには慎重に慎重を加へざるべからず而して府の管轄大に地方官の權力重きに過ぎて中央政府の命令地方に特せざるが如きの弊弊を導くことと云ふんば可なり

●京仁間の鐵道敷設の契約は急ぎ  
前報に記せし京仁間鐵道敷設の契約は急ぎ急ぎと云ふに其趣意の如何を了し云ふは鐵道敷設に關し獨立新聞は記して曰く、各人が遠くより待ちに待ちたる京仁間の鐵道は今や將に之れが敷設と見んとす(中略)朝鮮政府は已に之れに關する契約に調印し之れが資本は已に調印されるを以て萬一の敷設を機一變の間に生ずるにあらざるよりは速に其布設に着手せらるべく從來京仁間の鐵路は首府及支門口たる要衝間の鐵路と云ふに依て實際よりも非常に立派なる如く想像され居たるも其實之れに反して實際に絶へたる鐵路なりしが各人が之に對して快き復讐を取り得るの期は當に速に在らざるべし而して該鐵道は米國の資本を以て之を敷設し其全段の設計亦米國式に倣はんとするものなり蓋し漢江の架橋は全工費中最も困難なる所をなせし後而の敷設は此大運河に打ち勝つべきなりと從來該鐵道の仁川と釜山とを以て漢江の鐵道に比しべし或は京漢間まで延長し来るべきかは一疑問に屬せしが右に依れば斯く京漢間まで之と延長せんとするものなるを知らべし

●臨時總督府  
伊藤首相と中内閣總理大臣臨時代理と身せられ居りたる尾田首相は去る一日右臨時代理と見せられたり

●朝鮮軍大臣決定  
去る二日陸軍中將從二位勳一等子爵高橋親之助氏に朝鮮軍大臣に任命せられたり就ては宮中に於て儀式を奉行せられたるも暫くの間天皇陛下には御不例に付き總理大臣親筆官として右の命令と高橋子爵の返に附しめられたるものと云ふ

●朝鮮省大官の候補者  
折城省大官の候補者亦た數々の人々と呼び

來りたるが聞か所は依れば北海道長官北田鐵道氏に内定したと云ふ

●國乙昇引揚人夫無事  
國乙昇引揚人夫小倉安藏外二名が忠清道官前に於て暴徒の爲めに殺されたるならんとは當時の本紙に記載し又前号の紙上に於て北無事なるべしとの事を掲げたりしが右三人共無事長崎に安置したる由去六日仁川の或る船へ通報ありたりと

●暴徒捕獲の報告  
當邦各地方の警察官は暴徒の獲せを報れて身と命を惜みず地方の暴徒の如き之れを見れば一も二もあつて之を捕殺し居れりとの説あり事實果して此の如くならば暴徒に對しては頗る無き迷惑の事と云ふべし

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告

●釜山附近の暴徒  
釜山附近の暴徒

●同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告  
同地方暴徒の状況に付き去る五日釜山通信員からの報告





廣告



船會仁田屋 船社船川

海龍號

四月一日午前 時出帆 山本通商州島若水三川浦山浦山行

玄海丸

四月一日午前 時出帆 山本通商州島若水三川浦山浦山行

肥後丸

四月一日午前 時出帆 山本通商州島若水三川浦山浦山行

長門丸

四月一日午前 時出帆 山本通商州島若水三川浦山浦山行

駿河丸

四月一日午前 時出帆 山本通商州島若水三川浦山浦山行

薩摩丸

四月一日午前 時出帆 山本通商州島若水三川浦山浦山行

日本郵船株式會社 仁川支店

瀬脇壽雄

漢城病院



弊堂 轉仕諸印特別 廉價影刻仕候朱印内販 賣煉換仕候



小林好文堂

弊屋 顧客諸賢外從便 左處移舍

三和堂 廉價影刻仕候 三和堂 廉價影刻仕候

小林好文堂

岩谷商會

大阪二大支店

木村健夫支店

知諸君

吉廣酒蘭露香印



ハチ印 佛國萬國大博覽會 金銀獎牌受賞 蜜酒 蜜酒 蜜酒

實捌元 洋酒問屋 近藤利兵衛 朝鮮國特別販賣店

スコット乳油 肺病 氣管 痰 喉 小兒 痰 喉 小兒 痰 喉

着 荷 銃 西洋新式銃 二元連銃 日本村田式銃

紐育製藥舗 スコット 及パウ散白

廣告 品

日本特約販賣店 小西儀助

廣告 市川旅館

朝鮮國一手販賣 京城總店 順本商行

廣告 東 旅館

渡邊宇山

廣告 東 旅館





은 1977년 1월 1일부터 1978년 12월 31일까지의 기간에 걸쳐

국모지슈분스분코(조상야소장  
니고로니코자다가상슈가입  
人相)

而女初以爲良一語爲家聲矣、

檢事李會九檢事相初所擬立會者  
高宗檢判所給判及 李國晉  
判事 權在 妻  
判事 金致 駭  
檢判事 李容 翼  
檢判事 李 匡 翼  
書記 奇 東 衍  
書記 鄭 昌 圭  
檢判事之案時亦可悲是地方人民深惡之端  
以發其端



成岐運氏等之西航急行

전에 성기운씨는 청국으로 출항하였다는 소문이 세상에 돌리니... (Main body text of the article about the flight of Cheng Qiyun et al.)

文苑

한말을 보나 바달이 란 땅에서... (Introductory text for the 'Wen Yuan' section)
... (Main body text of the 'Wen Yuan' section)

Table with multiple columns containing names, titles, and other administrative or literary information. Includes a sub-header '官報抄錄'.

[illegible]

解主事叙任官七等  
以上四月九日

故去章을 지어 서加特力敎를 공히 받들게  
 하고 일제이 국중에 學院 일선여 곳을  
 폐하고 그敎地에 什物 財庫를 모다 격을  
 하니 갑시 일된 만원이 라서 호 교자본  
 을 치운다 하고 안하야 자갓을 삼으  
 니 라시敎院에 가 장큰 곳시 二十八所인  
 다 하여금 각 각 한 사람씩 드려서 上院敎  
 堂을 삼아서 써엿게 니를 맞게 하니라  
 이 제의 加地敎은 본하야 죽고 安波敎后는  
 왕이 또 結末치는 것 술기 버하더니 後  
 妻에 然慈康가 流官을 파치 되 敎后가 법  
 국에서 宣장하여서 일죽이 사 례으로  
 다브러 장통하였스 죽거지 가경하여  
 왕후소임이 당치 못하고 법에 맞당히  
 되 칠것시라 하였다니 波敎后 들에나  
 가 敎堂을 두는 것을 사왕이 사 례으로 하  
 야금 잡어다가 敎堂에 가 두 고 有明로  
 문초하여 죽이고 그 형제들과 후적사  
 인을 다 죽이고 그 소성녀 依利 薩伯을 다  
 처서 王의 女가 되 지 못하게 하고 그 이  
 혼날 然慈康을 제위后를 삼으니 국인이  
 비로소 波敎에 원통함을 얻는다 然慈康  
 가 이 들하니 물 나코 죽으니 그 이 들인  
 죽고 然慈康第六이라 라 일천오 백 삼십  
 팔년의 敎后이 구라 국 제국에 격셔를  
 전하야 왕의 죄를 선포함시 그 말의 글  
 으 디 敎后가 으 디 인군 되 지 못함지라 죽  
 으 디 맛당이 칼을 얻을 고 기 드릴것시  
 요 제 邦이 맛당이 복을 얻을 셔 칠것시  
 라 하였더라 그 후 삼년만에 왕이 日王로  
 국 移里를 去克에 드와 의 계 장가 들 고 또  
 諸將去克에 姓女加地敎을 총의 한 디 안  
 이 신키를 정하거니 왕이 허락하니라

今日本社新刊地方購讀諸君  
 便利한을 爲하야 農商工  
 部衙門에서 認可되얏스니 郵  
 遞線沿道에 諸君은 新報  
 價一朔一兩二錢五分과  
 郵遞稅七錢五分을 본社에  
 先納으로 보치시면 日々에 보치시옵

新聞紙價目(元 日 兩 分)  
 新聞紙一張價 一錢三分  
 一朔五張 先納 一兩二錢五分  
 三朔五張 先納 三兩五錢  
 六朔五張 先納 六兩七錢五分  
 地方購讀者 每月郵遞稅七錢五分  
 廣告價 本社를 爲하야 本社에서 三錢  
 이요 餘數及數回로 送차셔 갑  
 술날 받고 此處各價선금으로

도박수음

100

院院일선여곳을  
 을맞게하니라  
 고안波後는  
 이자갓것삼은  
 곳시二十八所인  
 식드러셔上院敎  
 이죽이사름으로  
 죽거지가경하여  
 하고법에맞당이  
 波後一들에나  
 이사름으로하  
 가두고有로  
 형의덜과후적사  
 신나依利羅伯을나  
 하하개하고그잇  
 을삼으니국인이  
 죽으니그이들인  
 라일천오빈삼십  
 제국에겨셔를  
 포후시그말의로  
 고되지못을지라  
 들고기드린것시  
 을내셔칠것시  
 년만에의日로  
 의게장가들고도  
 을총의한디  
 왕이하락하니라  
 力購讀諸君  
 니農商工  
 可되앗스리郵  
 諸君은新報  
 二錢五分과  
 五分을나와  
 五錢五分  
 一錢三分  
 一兩二錢五分  
 三兩五錢  
 六兩七錢五分  
 每月郵遞稅七錢五分  
 本內各紙三錢  
 及數回로종차서  
 本內各紙三錢

西航

廠は今二十九年度の始めより直に其の擴張に着手せられ從來現付ゐる大砲、小銃、砲兵、銃砲師等の製作機は殆ど倍大の擴張とを爲し、外國より機關砲の購買、工廠の建築等も始りたるべく又從來の工廠に備付けられずして今回新たに設備せらるべき機關には海軍砲及び連射砲の製作機等も之れありと云ふ。

●富士鐵の船殼格

水を得つゝ銅  
既に涼船に搭  
けり幾何ゆ兵  
夜何か不平の  
めむはに劍を  
取上げて携帶  
兵士の之れを  
八名太結附砲  
を馳せ來れつ

新造與富士號は去月三十一日過水式を畢し、  
同號同航員は愈々明後日を以て出發する由  
あるが該號の船艙に就て或る人の語る所を聞  
くには長崎港州より京津に來れる一萬噸以上の

す依つて已じ  
せしめ死傷忽  
兵も機關砲を  
亦も最前抵抗

て強頭堀の南側を路解を面筑し來れるとふ  
れに富士料も先般過水式式だけは通行せしを未  
だ式地せざるとなれば其吃尺、排水型數が果  
して計算の如く一毫の差なきや否やは同航委

したう因つて  
國せしめたり  
糧食金錢を給  
對し暴舉に及

員被地に到着の上からでは確知することを得ざれば、其邊の事判然せし上船航路も確知せらるべし。船航の途次は成べく風雨を避け又歐亞の各港へ寄港するとなれば該船の日本に着するも明瞭なるべし。以上を以て記す。一

●仁川電燈會社

公布せられたる影印船條例に依れば軍艦の  
艦長は大佐若しくは少佐大尉とされは富士號  
の艦長は矢張大佐あるべく船航の上は舊例に  
より現國航委員三浦大佐を現艦長に補せら

る同會社にて  
萬事の設計を  
手は愈々去る  
と親近日親

◎教育事務部の計畫　茲に事務部長伊澤修二氏は去る六日字品發歸郷をせし由あるが同氏一行が着郷の上は先づ内地より引寄せし學校

●苗の旨謂と志と通ずるの言  
猿の旨旨に就き  
クワーク氏之苗  
六百種と題解す

しり大凡三ヶ月間必要なる土籍及び其他有用の科目と教授し而して後十四ヶ所の邦語學校へ二名宛配置し且つ邦語學校の校長には其土地に於て名望ある町村長等と協けて之に任じ

結果に依れば猶  
る所ありと猫と  
わる

●第九護命

就學期は大凡六個月間位とし邦語の普及を計る由なるが又た之に次で臺北に模範學校と設立し臺灣に於ける小學校設立の模範研究を多し又た官立帝國語學校等とも設置する筈あり

▲西院を  
一、造船獎勵法案  
二、官政鐵道用品  
るゝと、前金

●平壤在留民の損害高  
平壤より引揚げ來りし人々は仁川港に集結し、  
傷病者をもつて送り委員を擧げて其損害高調  
査中なりしが去る十日愈々其調査を終へ同地

- 二 官投遞送用品
- 二 司法官試補費
- 二 理事の恩給及
- 二 船舶検査法案
- 二 船舶職員法案

領事館に届出でたりと云ふ今は其損害高あり  
と云ふを聞くは左の如し  
一 金十二萬七百七十五圓八錢一厘  
總被害高

船舶職員懲戒  
民法修正案  
戰疫預防法案  
裁判所の設置

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 貸金  | 三萬四千八百六十六圓三十錢五厘 |
| 商品  | 五萬七千九百九十二圓〇一錢五厘 |
| 現金  | 一萬四千三百七十五圓八十錢   |
| 込約金 | 百圓              |

更に關する法律  
將邊疆除障防  
移民保護法案  
開港場外に於て  
貨物檢出入の

愛一萬一千八百七十八圓○四錢一分、家財一  
愛二千二百七十圓、后嗣其他の物件  
外に横死者一名、  
又右の人々は委員數名と選んで上京せしめ小

郡界變更及郡改  
新奈川、兵庫、  
淡路、栃木、水  
山、島根、島根

●清兵の暴動　日清戦争の際存案したる清  
國湖南兵勇五千人ばかりが財米北京と天津との  
間に駐屯せしめありしが清國政府は白河の解  
水を得つと歸郷せしむるに決し其の内若干は  
既に海軍に搭せ歸國の途に就かしめたるが發  
見を幾何の兵は據泊に在りて便船を得ず内政  
夜何其不平の事ありて士官に對して亂暴を始  
め互ひに劍を引拔きて斬合ひ一統器は懷ねて  
取上げて携帶せしめず一平歸郷に其より士官  
兵士の之れを制せんとして殺されたるもの十  
八名太清湖砲臺の司令官此の變を聞き兵を率

●猫の言語と支那語 前類にも亦互ひに意  
志と通ずるの言語あり其にガルムユー博士は  
猿の言語に就き研究せしが今又アルフセン、  
クローク氏之猫の言語に就きて研究し約と其  
六百種と理解するに至りし由あるが其研究の  
結果に依れば猫の言語は善く支那語に類似せ  
る所ありと猫と支那、知らず如何なる因縁か  
ある

と計  
▲商院と通過せし政府案(稿)  
一 船舶要綱法案  
一 官設鐵道用品を官設鐵道用品資金より買入るゝとす前金拂償済に關する法律案  
一 官設鐵道用品資金増加法律案  
一 司法官試補實地練習期間に關する法律案  
一 理事の恩給及び遺族扶助に關する法律案

漢、楊木、桑、三、璽、岩、

地方學事通則改正法律按  
河川法按  
馬匹對查及檢査に關する法律按  
藥類取單賣賣資金會計法按  
會計波査院法中改正法按  
會計波査官退官に關する法律按  
豫定通關線路中私設通關留令に對設許可

輸入棉花海關稅免許法按  
東京府下郡府警法律按  
裁許裁許府所屬職員に官吏忌給法及官吏違  
族扶助法と適用するの法律按  
禁烟に施行すべし法令に關する法律按  
地方稅經濟に於て臨時土木費に起償及地租  
關限外廢除の件法律案

計中繪出入統計以

[illegible]

| 月別                | 本年三月中  | 昨年三月中  |
|-------------------|--------|--------|
| 別                 | 本年三月中  | 昨年三月中  |
| 日本産               | 一〇、〇二〇 | 一三、八〇一 |
| 外國産               | 一〇、一九八 | 一九、七八八 |
| 朝鮮産               | 一、一八九  | 三、八八〇  |
| 朝鮮産               | 四、九五七  | 九、六七七  |
| 輸入重要品に就き前年三月との比較と |        |        |

▲輸出重要品 (圓位以下省略)

|       |       |      |
|-------|-------|------|
| 站名    | 欽 登   | 價 格  |
| 金 市   | 五五三   | 二二二五 |
| 木 棉   | 一、四四〇 | 一五三〇 |
| 史 紗   | 三     | 一五   |
| 小 柏 棉 | 一〇實   | 三三   |
| 切 橫 布 | 三二八把  | 七九四  |
| 寸     | 一〇五順  | 一六九五 |

|    |    |    |     |      |
|----|----|----|-----|------|
| 油  | 麵  | 物  | 器   | 物    |
| 五錢 | 五錢 | 四錢 | 二五錢 | 四九〇足 |
| 二二 | 二五 | 六五 | 二六〇 | 一七二  |
|    |    |    |     | 二四〇  |
|    |    |    |     | 二〇〇  |

|   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|
| 油 | 一五〇 | 罐 | 一七  |
| 物 | 五〇  | 圓 | 六   |
| 樹 | 四五  | 打 | 一九八 |
| 圓 | 六〇  | 打 | 一三五 |

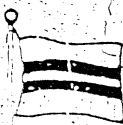
|      |     |       |      |     |     |       |    |        |
|------|-----|-------|------|-----|-----|-------|----|--------|
| 品    | 論   | 石ケン   | 炭用紙  | 針金  | 管   | ア     | 税  | 貨      |
| 七三〇  | 三九  | 一六    | 四四   | 三六  | 五   | 一〇    | 八八 | 二〇、二〇〇 |
| 一二〇打 | 一五箇 | 二、〇〇枚 | 一〇〇斤 | 二〇本 | 五〇打 | 五、五〇圓 |    |        |

|          |        |       |
|----------|--------|-------|
| 市        | 七八一    | 三五四一  |
| 路        | 二〇〇    | 五七〇   |
| 抄        | 三五〇斤   | 三七二   |
| 油        | 八三三函   | 二二〇四  |
| 釘        | 一、〇〇〇斤 | 八二    |
| ▲仁川韓人外國產 |        | 六、七六九 |
| 市        | 五五〇    | 二、五八〇 |

|       |       |
|-------|-------|
| 蠟     | 皮     |
| 五、六五〇 | 一、四九六 |
| 四七四   | 二七二   |

一、六五〇  
一五〇、〇〇〇斤





郵會仁川廣告

海龍號

四月 日午前 神威出

玄海丸

四月 日正午 時

肥後丸

四月 日正午より入港四月 日出帆

長門丸

三月 日 長崎 釜山 元山 漢口行

駿河丸

四月十四日入港十五日頃出港

薩摩丸

(上海) 四月 日入港四月 日出帆

日本郵船會社仁川支店

大坂商社 瀛船仁川廣告

須丸

四月 日入港 一月 日 出帆

二見丸

四月 日入港 四月 日出帆

筑後川丸

四月 日 出帆

仁川荷客取扱所

弊堂 轉仕諸印特別

廉價影刻仕候朱印内販

賣煉換仕候

京阪長崎六所地石川商會より南三軒内

弊廳 顧客諸賢の從便

左處に移舍せり

上等圖章 廉價彫刻

三和堂 販賣

小林海文堂

吉廣酒造



ハチ印... 吉廣酒造... 大日本東京日本橋區本町二丁目九番地

賣捌元 洋酒問屋 近藤利兵衛 朝鮮國特別販賣店

ラム子製造賣出 御披露

着 荷 銃 西洋新式銃 日本村田式銃

ラム子製造場 雜貨商

廣告 市川旅館

倉 雜貨 廉價

和漢洋藥廣賣 成尾安五郎



부도수광고

부도수광고  
此酒아닐라이요... (Text describing the wine's quality and origin, mentioning its fragrance and health benefits.)

特別販賣店限本商行

獵

式銃銃銃銃  
附 銃  
屬 附  
會 商 川 石  
帽 西 長 護  
子 洋 服 履 履  
各種

品

旅館

廣賣

五郎  
知諸君  
平川武右衛門  
渡邊宇山  
古城梅溪

岩谷商會  
大坂二一  
大支店  
木村健夫支店

板子大中小色々  
右新着廉價販賣仕候條  
多少に不係御用被仰付  
度奉願候也  
鈴木大坂堂支店

第五拾八國立銀行京城支店

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

一定期預金  
一貸付金  
一手形割引  
一送金(送金)

為換取組先  
仁川 釜山 長崎  
神戶 大阪 名古屋  
大坂 東京

瀨脇壽雄  
漢城病院  
長里商厦

スコット乳  
レオフル油  
支炎瘰癧  
虛弱小兒  
肺病氣管

紐育製藥舖  
日本特約販賣店  
朝鮮國一手販賣  
小西儀助

發行所  
漢城新報社  
東京館  
馬關  
橫濱  
東京



한 개가 앓아들 자 일에 왕래가 여지나 왔는디  
 낮을 때 극진히 병의 무정함을 술히 하시 는디  
 에 續續히 병이 왕래조의 개를 라고 한 앓기로 한 病  
 도 方을 續續히 앓아 시는디 續續을 續續히 續續은 신 나

는 거신터, 청국판리가 아마 적을  
는 제국은 다 피할 것야 서 제국에  
파놓고, 그것한 법 죄인을 달고  
가서 제국을 섬기고는 후에 못그 죄

한글을 호변하는 거시三變式  
이요 緣數及數圖로 뜻차서 갑  
슬얼 밝고 此廣告價선 급으로  
도 밝스옵

今因本社新報と地方購讀諸君

에便利함을經略하야 露路衙門으로  
郵遞迅速하물려앗더니 農商工  
部衙門에서認可되앗스리郵  
遞線沿道에諸君은新報  
價一朔一兩二錢五分과  
郵遞稅七錢五分을本註에  
첨으로보너시면日々에보너음









合は、薩摩の  
 一、一日年  
 の故より本年  
 と知す。自國  
 をし知して我  
 は此民として  
 にも旗かさるゝこと是非なげれ去る十一月  
 が時辰迄初め機嫌及び用水以餘の高う詰所  
 の召集ありしを南大門通りなる我が幸無  
 窮の投擲と打越らせしが獨の精人は之れ此事  
 の想知若しくは軍隊有果の警報をもんを言ふ  
 方は通報もせぬと之れ、密會して八千の目  
 に加太師より入封せしこの元來へ思ひ一六

主權を離れ、賦し其内閣屋、神寶の如き、  
 少くも安んずるの割合とせり。然らず、今由  
 今一月間は斯くして、國權相く、運轉の者を見  
 せし間は、此の儘運轉するときは、其の弊害の  
 甚く、探近せし、旁旁以て各地方騒起の端、起し、未  
 だ知らず、追々激怒を依復するに至るべし。  
 今由、其時、其の弊害の數倍にして、

平

▲商 記、  
本月の新況は客月十一日部役の砂野君に接見し其の各地方の爲めに顧客の足跡大に延び、従つて同君が明後月より依然中止の要なく、既に十日過ぎに及んで各地方遠征の勢も益々旺盛に發展せり。又其の内地出張、神宮の如き主要の地に入るの割合とより幾ばずも、金田、寺岡、月形に附しては、短期間も出張の爲に兎さう間に定めて出張するときは、其の材料採取の探近せしき勞力以て各地方遠征の準備と、共に備へべく追々敷設を恢復するに至るものと、中々其の進展は、概年の數倍にしてゐる。

此地は昔月米の不足に困進に轉じ至寶見  
 方との行進と送せられし等にて北方大商人  
 の人は取手にて大に利を得たり  
 牛馬・牛骨　は東内附近にて採殺せし分と  
 牛糞せしものにて別に送附の地より搬送し來  
 たりたるもの之れを以て對月を以ては屬々半  
 價に賣す  
 (未完)









先哲叢談

小松에 있는 小松의 요 小松은 三介 요별호  
 는 小松이 요도 별호는 二賢나 土佐의 사  
 람이라  
 一齋에 부친 素軒의 字號中이니 처음에 素  
 祖親慈源에 드러서 土佐親善堂의 氏도 르  
 나라 그 위인이 호를 걸사 럼 그 高麗인이  
 서사가 장 關學을 호하 하더니 그후에  
 드디어 머리 띠를 풀고 나서 大學을 칭하  
 고 關道로써 업을 삼을 시 大學에 野中兼山  
 파산 關學을 달갈음치니라 이씨의  
 大學之學에 女學이 없나지 못하 였는지

디구노변향의興精이야주업거름  
이서취을사방에구하여서집이두고  
즈딜과남불모다보게하니라  
집이본된니스호지물울함진하여서  
一자로한금小倉과三자로개비호개  
하고일니금<sup>○</sup>되나들으니부귀로  
오면복술일년다하니이그연로와지  
산오막석거리가즈손에게요흔것시

거우조금아치남겨서호구호마치두  
있더라  
...가가자란후에...  
은후에...로와서...  
...에...라...그...  
...서...  
...이...  
...의...  
...보...  
...레...  
...되...  
...가...  
...그...  
...안...  
...일...  
...의...  
...설...  
...한...  
...에...  
...나...  
...아...  
...운...  
...림...  
...치...  
...라









知らずや知と云ふ當日は草創の弊に於て盛大なる式を學  
 校に一日夜げ続けし是迄の觀に對しきも何と云ふ意へ  
 思ふ事なる非ずとの主意にて同校式は禮目と誤り單に入  
 へ通し同校式を舉行するとして、此節を實意を旨とし至  
 には校務書 實を直に同學堂を調停ある、の教育のふなり  
 といふ 此深保を略記せんは年俵一兩幾錢一同を  
 募集し一口 校場に集り入學宣誓式を行ひ校員中階、は廣  
 々其の開設 三氏の學堂設立に關する演説あり次に實業位  
 其の數々之 入間大尉外一名の演説あり是にて式を要う一三  
 校中とは 同校式にて市山を参り學堂校尉の間に親會し  
 多くは氏と問ふ十分の款を讀して散會し是は年六六  
 といふ實を 身になりし同校式を昨日より校務を開始行

[illegible]

|       |         |   |
|-------|---------|---|
| 大形    | 二八〇〇    | 全 |
| 小形    | 一八八〇〇   | 全 |
| 九虎銅   | 二六〇〇〇   | 全 |
| 折錫    | 四八〇〇〇   | 全 |
| 鉛丹    | 一一〇〇〇   | 全 |
| 昇鎔板   | 三六〇〇〇   | 全 |
| 白銅一等  | 九〇〇〇〇   | 全 |
| 石油松印  | 二、八〇〇   | 全 |
| 馬火印   | 一六〇〇〇   | 全 |
| ス克蘭ト  | 一、三〇〇   | 全 |
| 重竹大鹿  | 一、四〇〇   | 全 |
| 重竹地球  | 一、〇〇〇   | 全 |
| 重竹二匹鹿 | 九〇〇     | 全 |
| 粉     | 一一〇〇    | 全 |
| 粉     | 一二〇〇    | 全 |
| 粉     | 六〇〇     | 全 |
| 和形    | 二四〇     | 全 |
| 大和箱   | 一三〇     | 全 |
| 其箱五五  | 六〇      | 全 |
| 剪     | 一一〇     | 全 |
| 切箱系   | 二六八〇    | 全 |
| 合系    | 二、八五〇   | 全 |
| 平     | 三〇、〇〇〇  | 全 |
| 太     | 二五、六〇〇  | 全 |
| 金     | 四四〇、〇〇〇 | 全 |

▲當票額別計に増減表  
二月 中 三月中 差額 差引 ●  
月別

|     |    |    |
|-----|----|----|
| 行   | 二  | 二  |
| 社   | 一  | 一  |
| 期   | 一〇 | 二〇 |
| 二等  | 二四 | 二四 |
| 上等  | 二五 | 二七 |
| 上三等 | 五八 | 六七 |
| 反物商 | 一一 | 一〇 |
| 木商  | 三一 | 三三 |
| 子商  | 六  | 五  |
| 真師  | 三  | 三  |
| 健師  | 三  | 三  |
| 甲版  | 一九 | 八  |
| 針商  | 五  | 五  |
| 國業  | 六  | 五  |
| 丸肉  | 五  | 六  |
| 茶園工 | 七  | 七  |
| 茶請賣 | 九  | 九  |
| 液、晒 | 一  | 一  |
| 不請負 | 二  | 二  |
| 治   | 二  | 二  |
| 皮同漬 | 一  | 一  |
| 印刷部 | 二  | 二  |
| 物業  | 一  | 一  |

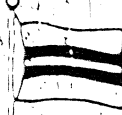
(堅丁)



物價

|     |     |        |
|-----|-----|--------|
| ●白米 | 上二石 | 拾圓     |
| ●白米 | 中二石 | 九圓五拾錢  |
| ●白米 | 上二石 | 九圓三十錢  |
| ●白米 | 中二石 | 十一圓五十錢 |
| ●白米 | 上二石 | 十一圓    |
| ●白米 | 中二石 | 十圓五十錢  |
| ●白米 | 上二石 | 五圓     |
| ●白米 | 中二石 | 五圓     |
| ●白米 | 上二石 | 三圓三十二錢 |
| ●白米 | 中二石 | 八圓     |
| ●白米 | 上二石 | 七圓     |
| ●白米 | 中二石 | 五圓六十錢  |
| ●白米 | 上二石 | 四圓四十錢  |

廣告



郵會仁川廣告  
船式社川告

海龍號

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

玄海丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

肥後丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

長門丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

駿河丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

薩摩丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

日本郵船株式會社仁川支店

大船會社船仁川廣告

須丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

二見丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

筑後川丸

四月廿二日入港 四月廿三日入港  
四月廿四日入港 四月廿五日入港

大船會社船仁川廣告

ラム子製造賣出御披露

弊店製造ラム子之發售は最も佳味にして衛生上有効の質料  
と傳へ已に昨年も大に御愛顧を蒙りし處尙本年は一層原  
水藥品等を精選製造せる五月より一日より賣出初め致し便間不  
相違御愛顧之程希望致候謹白



雜貨 製造場  
ラム子製造場

ラミ製造發賣廣告

弊店から製造したラミ水炭快飲料は各店に  
高價に賣出せられたる實情を聞き及ぶ昨年五  
三に愛顧を蒙りたる本年より原料藥品を精選  
製造せしめ五月より一日より賣出初め致し便間不  
相違御愛顧之程希望致候謹白



雜貨 製造場  
ラム子製造場

瀨脇壽雄

漢城病院

長里商座

東京館

板子大中小色々

鈴木大阪堂支店

スコープ  
支那  
及日本  
朝鮮國

仁神  
一  
一  
一  
一

附屬  
日本村山式銃

發行所 漢城新報社

漢城新報

刊發日隔

漢城新報

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

● 漢王과 니홍장이라 주위 아라 사로발정후에 공친왕을 맞아서...

關省의 서북경으로나 왔다. 단견보라  
 고을은 말을 잔궤하니, 전에야 주진영  
 와얏든 회교원가도니 러나 서북경  
 行營에서는 수일 전에 좀더 앞다  
 라가니, 대궐 앞스물대승을 앞

다고 하는 濤將이 제가 좀 피복하였다  
하느니 변을 하든 거슬 보면 아 마 관군  
이 대패하였는 거시리라

●石炭之輸出額이라 赤銅과 砒石에 두

新設 孟買 總領事 英國 比拉賓의 稟 答 文  
근대 역사는 三三月 韓 國 仁 愛 公 司  
위로 구라 내며 보냈든 거시 근수로 스  
현일 빈삼십사만오천이 빈팔십이오  
근이요 갑시이 빈십팔만이 빈팔십

이라더라  
● 人問之曰 何 學問之道 爲 奚 矣  
서궁리하는 중에 도근리 趙趙國人 리  
바란스 몸은 시로 시계를 믿든 병을  
의(病)가 시(詩)가 詩을 믿든 사람이 알

은하도것又치해호다나이상케된  
을기도민것다라

● 設國新開之木浦古側設

萬民이「노와

선의를 베풀고 고귀하라 한 말을 듣고는  
 보라니 오직 불교만 하마 당할까 하고  
 또 다른 길을 본 뒤에야 아모나라도  
 행하지 아니하므로 우리 아라사도

이런 일을 생각나 되고 병원의 상사로서 이

나드라기도 되고 하마, 또 뽕을 만두 끈  
 티로 나갈 일이 있은 주머니의 배를 뽕  
 도 거적방고, 그 방은 조섬을 밟고  
 잇고 티가 주나 거문도 밟아야 서서

新嘉坡 亞答街 門牌 五號 之 廣 興 號 主 人 亞  
 答 街 門 牌 一 號 之 廣 興 號 主 人 亞  
 答 街 門 牌 一 號 之 廣 興 號 主 人 亞  
 答 街 門 牌 一 號 之 廣 興 號 主 人 亞

|        |           |
|--------|-----------|
| 新聞紙一與價 | 一錢三分      |
| 一兩間 先給 | 一兩二錢五分    |
| 三兩間 先給 | 三兩五錢      |
| 六兩間 先給 | 六兩七錢五分    |
| 地方調度者  | 每月郵遞費七錢五分 |

호준을 호반에 두거사크  
이오 倭寇及賊國로 出차셔  
술덜 받고 北國을 價선금으로  
도받소음









[illegible]

手六萬圓拾萬圓に在れば非月日本商の支店所より起納せし紙拾壹萬四千五百八拾六圓の額より少し三月より起つて計納は日商より多し

にして太平合せの取組まし  
 けり 前月より一倍の不景氣にして、貧乏者  
 は實に困窮を極め居れり





# 漢城新報

隔日發刊

雜報

## ●新法律之發布

第十三條에 두바치임은 자는 장의 만코즈근거설을 논하고 유족을 간치말고 일일외에 정액 주신하고

제번치법호자는 교호

第九條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

第十條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十一條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十二條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十三條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十四條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十五條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

도정호자는 만코즈근거설을 논하고 유족을 간치말고 일일외에 정액 주신하고

제번치법호자는 교호

第九條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

第十條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十一條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十二條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十三條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十四條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

第十五條條主의 피육파 그가치당호로

제아리안치법

제아리안치법

다하는 관가물건을 맞춘자는 사정을 아는 자와 그치는 자

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

다하는 관가물건을 맞춘자는 사정을 아는 자와 그치는 자

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

다하는 관가물건을 맞춘자는 사정을 아는 자와 그치는 자

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

다하는 관가물건을 맞춘자는 사정을 아는 자와 그치는 자

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

●新設之助金이라 國庫金은 아문어 돈항자에 都金으로 회군수입이 며 本國은 인공수입을 助金으로 지조 할아 주

此로 이 무성기는 북쪽와 동쪽으로 뻗고 있음이  
 이기는 본과 이나 되오나

한글리요하고웃습버셔쥬  
웃가랴하디나강도면이이진  
모부리요모부리하디하디

이요 諸國及我國로 좃차서 갑  
술년 戊午과 戊辰년으로 연급으  
로 받스옵

|  |        |      |        |           |  |  |  |  |
|--|--------|------|--------|-----------|--|--|--|--|
|  | 開      | 開    | 而      | 鳴頭者       |  |  |  |  |
|  | 先給     | 先給   | 先給     |           |  |  |  |  |
|  | 一兩二錢五分 | 三兩五錢 | 六兩七錢五分 | 每月郵遞費七錢五分 | 호중을호반내근거시三式<br>이요該及及國로꽃차서갑<br>솔덜박고此價傳價도선금으<br>로받소음 |  |  |  |





寶報抄錄

卷之四

宮内府参事官  
十六日

元山游記

五

상을 전선 할 만 하지 어대 포를 쏘고  
잡히지 구장 소달여 불고 단기는 못마  
음 못지 안기며 초취하기 문배 비하야  
수국의 법을 삼으니 드리는 지척함이  
사공이 배를 하사 자 되니라 이 때는 사  
공과 대의 다리 놓살피는 사람들이 업서  
서 내 앞으로 오를 듯 드면 조의를 세외  
조금 상고 쌓은 지 간하며 품성을 좇아  
하여서 영육에 죽음을 삼킬 바가 본국  
으로 돌아와서는 반드시 시세의 예를  
오른 저 일씩 밟치더라

○ 依對公卿의 죽고 諸將가 도라의  
서왕의 계동행이니 하니 호는 諸將의  
이요 이 때 일은 바로 諸將의 표적이라이  
에 諸將과 諸將의 합해야 하는 이 되고

나이는 또 호남에서 죽은 것이니  
마음이요 오직 날을 일우디 못호것만  
한탄하다 왕의 미소를 스스로 유잔  
하기로되 하거니 諸將의 諸將이라 한  
조 사람이 왕을 거스려 보니 諸將의  
의논이 잇스니 그의 논을 좇디 아니크  
왕이 스스로 법률 변치 못함이라 만년  
망녕되어 사람을 잡는 자 이 잇스면 만  
는 자 줄 곳죽이는 것시 무방하다 하  
라 임천 후 백십일년의 諸將의 諸將이라  
우리 두 사람이 다 큰 교를 받는다 하  
되 등의 논을 시 죽이기 의 일이 거  
이 크게 잡고 가 치안다 호되 필경  
은 諸將이 붙살너 죽이나 백성이 원  
하더라



[illegible]

● 明治維新の時代人々 ●

[illegible]

高野長英は蘭の三人から一つと下なものを  
吉田松陰は心算で居るしなくく、物な  
し武士道は心得で居るしなくく、物な  
た品川さんは無暗と尊厳とを其體に併し  
州と徳政を信じて居り人間が正直である  
からいから  
長閑で居る此れ蘭館の中をからし人々が  
つたよ御前殿の蘭の井御前夫人知られず  
と役立ててしつゝの蘭館の一人也

[illegible][illegible]

一 山形縣下鹿分合法案  
一 杜幸林地保管法案  
一 青森縣改正法律案  
▲貴族院否決の議員提出案  
一 議院決拾九號第壹項改正法律案  
一 明治二十三年法律第五拾號民事訴訟法施行  
法例中刪改法律案  
一 設立銀行處分法案（延期）  
一 國庫營業稅法中改正法律案  
一 海關關稅以海關國庫補助法案  
一 國界變更法律案  
一 大藏府海關稅關界變更法律案  
一 商法中改正法律案  
一 明治二十三年法律第四拾六號水利組合條例  
中改正追加法律案  
關稅法案  
▲貴族院否決の上院按

▲議院對議決の決議按  
決議按  
▲然議院否決の建議按  
一 議院或は衆議院に關する建議按  
▲諸國の議決をさし着  
一 費底記  
一 決議按 可決百三十七件 否決二件  
右の外衆議院に於ては議決に至らざるもの日  
本銀行議決法按、國庫調査法按、國庫法其の  
他數件、議員の懸案二件ありたり (卷了)

廣 告

作胆及健及、フ、足、腎、腰、骨、化、又、及、骨、痛、  
坐、仕、直、坐、仕、其、也

中 山 店

出版中央出版會館

物價

|     |     |        |
|-----|-----|--------|
| ●白米 | 上二石 | 拾圓     |
| ●白米 | 中二石 | 九圓五拾錢  |
| ●白米 | 下二石 | 九圓三拾錢  |
| ●白米 | 上二石 | 十一圓五拾錢 |
| ●白米 | 中二石 | 十一圓    |
| ●白米 | 下二石 | 十圓五拾錢  |
| ●小豆 | 上二石 | 五圓     |
| ●大豆 | 上二石 | 五圓     |
| ●石油 | 上二石 | 三圓三十二錢 |
| ●石油 | 中二石 | 三圓     |
| ●石油 | 下二石 | 二圓八    |
| ●白米 | 上二石 | 七圓     |
| ●白米 | 中二石 | 五圓     |
| ●白米 | 下二石 | 四圓六十錢  |
| ●白米 | 上二石 | 四圓四十錢  |



郵會仁川支店  
船社仁川支店  
廣告

海龍號

四月廿二日入港四月廿三日出港  
群山水前洲島在水信三川灣高山嶺釜山

玄海丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

肥後丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

長門丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

駿河丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

薩摩丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

日本郵船株式會社仁川支店

大船會社 瀛船仁川廣告

信濃川丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

二見丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

筑後川丸

四月廿二日入港四月廿三日出港  
釜山兵船下關神戶行

大船會社 仁川荷客取扱所

ラム子製造賣出御披露

除害殺菌のラム子製造賣出御披露  
ラム子製造賣出御披露  
ラム子製造賣出御披露



雜貨製造場  
ラム子製造場

ラム子製造發賣廣告

ラム子製造發賣廣告  
ラム子製造發賣廣告  
ラム子製造發賣廣告



雜貨製造場  
ラム子製造場

瀨脇壽雄

漢城病院

長里商會

旅 東京館

板子大中小色々

右新着廉價販賣仕候條  
多少に不係御用被御付  
度奉願候也

鈴木大阪堂支店

岩谷商會

岩谷商會  
岩谷商會  
岩谷商會

平川武右衛門

銃 西洋新式銃

銃 西洋新式銃  
銃 西洋新式銃  
銃 西洋新式銃

品

スコツ  
レフ

支炎瘰

及六

紐育

日本特

朝鮮國



紐育製藥舖 スコツト  
及パウシ散白  
日本特約販賣店  
朝鮮國一手販賣  
小西儀助  
京屋商店主人金澤末吉

青島日報은거번부터 漢城新報에 記載을  
출판하고와가다오  
書籍文房具  
四洲貨物各色  
雜貨各色  
學生用器機各色  
筆墨紙類

京城泥鰌八十七號地

|       |       |
|-------|-------|
| 一當座預金 | 一當座預金 |
| 利息    | 利息    |
| 年     | 日     |
| 七分貳厘  | 金壹錢   |

此預り金ハ通帳ヲ以テ出入ク爲レ一日金五圓以上  
何程ニテモ預リ可申候

定期預金

六月  
年

八七六  
分分分

一貸付金  
一當座預金貸越

一 手形制引  
一 荷爲換

一送金（電分送金共倍）  
一代金取立

●貸付金利息及び交換命令等ハ積立供養ノ以テ内債利ノ取扱可申俟而  
金額ノ多少ニ係ハフズル申込下度候

爲換取組先

|    |    |     |    |    |
|----|----|-----|----|----|
| 仁川 | 釜山 | 長崎  | 福岡 | 馬關 |
| 神戶 | 大阪 | 名古屋 | 横濱 | 東京 |

獄

式 式  
銃銃銃銃  
附 附 銃

石川商會  
護長  
漢履  
西洋各種服履  
子


馱馬取拔擴張廣告

漢江氷結し荷客御  
便利の爲め事業ノ擴張

價と迅速  
 各地方へ  
 東京城仁  
 川

他、**名地方**の如く、和を相取り、中  
間諸に倍し、御用被仰付候様、願候也  
但、小僧及御主の付添、無之、惡物も、取

京級職(第四十三昇地)  
仁川各級所留地第二十九番地  
明治廿八年十二月  
馬取拔所謹告

什 祿 方  
 職工用和漢洋藥販賣  
 各位ノ御愛顧ニ求ナリシニ、諸君厚賜候通  
 二特設鹽仕、賤價不相違、多少ニ不限、御注文  
 御用ノ程、快テ希望仕候  
 日本大坂  
 東區鹽濱  
 町壹丁目  
  
 成尾安五郎

本校本院은 朝鮮人 病者의 便宜함을 위하여야  
 朝鮮語를 통하고는 醫藥을 習入한 人者는 頗  
 히나와 開治한 시 亦 但 重病者는 病家로  
 가서 診察한 後 任 輕症도 施行함

贊化醫院長 古城梅溪

京城 泥 脫

廣  
告

付來弊店ニ於テ購米スル物品ハ弊店其物販ニ  
 比較ノ物ニアラザレバ弊店ハ一切其責ニ任セ  
 ス候也

市川旅館

小生頃急有用之本日出役朝可致候御卒の聲  
にば口紙上缺禮を謝す  
明治貳拾九年四月五日  
東京中央新聞通信員  
知諸君  
渡邊宇山

弊堂（偏く校都）左之所  
轉（金くより）仕諸印特別（上）  
廉價彫刻仕候朱印内販  
賣（此）煉換仕候

東京長崎六ヶ地石川細川より南二軒内  
大日本東京  
御用印刻師 小林好文堂

弊塵은顧客諸賢의從便을

문위호야 左處에 移舍하고 내려  
상등 圖章을 廉價로 彫刻하야

드리고도 인주도 열매 販賣하옵

大日本東京  
御用印刷所  
小林好文堂

新定  
一 支 貳 錢 五 厘  
一 調 月 貳 拾 五 錢  
三 調 月 拾 錢  
六 調 月 壹 圓 貳 拾 五 錢  
五 調 活 字 貳 拾 壹 圓 貳 拾 五 錢  
段 出 行 散 及 回 散 以 上 調 引 仕  
料 金 以 憑 剪 割 金 以 可 申 變 換 事

發行所 漢城新報社

[illegible]

社  
告

[illegible]







漢書卷之四十五

紙し、の 出合に於ては其の命令の執

情を成すことを得、  
飢しの割合に於ては其の割合は倍

[illegible]

100

[illegible][illegible]

● 仁川荷客取扱所

五山下ノ關大坂行

11

元 年 上 巳 日 癸 巳 年 上 巳 日

12

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...  
 東京市...

石丸鹿太郎  
 新荷着...  
 附屬品...

石丸鹿太郎  
 新荷着...  
 附屬品...

石丸鹿太郎  
 新荷着...  
 附屬品...

石丸鹿太郎  
 新荷着...  
 附屬品...

石丸鹿太郎  
 新荷着...  
 附屬品...

石丸鹿太郎  
 新荷着...  
 附屬品...

石丸鹿太郎  
 新荷着...  
 附屬品...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...

東京市...  
 東京市...





고도재

화강도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

하도

雜報

● 雜報之續

전북의역의 편성... (Text about railway scheduling in Jeonbuk)

의양시내의 역... (Text about stations in the Yangju area)

의양시내의 역... (Text about stations in the Yangju area)

의양시내의 역... (Text about stations in the Yangju area)

의양시내의 역... (Text about stations in the Yangju area)

의양시내의 역... (Text about stations in the Yangju area)

(別漢譯英略)

● 漢譯英略... (Text about English translation)

● 漢譯英略... (Text about English translation)

● 漢譯英略... (Text about English translation)

● 漢譯英略... (Text about English translation)

● 漢譯英略... (Text about English translation)

● 漢譯英略

● 漢譯英略... (Text about English translation)

● 漢譯英略... (Text about English translation)

右... (Main body of text on the right side of the page)

左... (Main body of text on the left side of the page)





特別廣告

應第八號

選取... 應第八號... 應第九號...

等領事內田定

右領事... 應第九號...

應第九號

明治二十九年四月十八日... 應第九號...

右領事... 應第九號...

右領事... 應第九號...

右領事... 應第九號...

右領事... 應第九號...

一、等領事內田定

右領事... 應第九號...

內閣の小交迭

朴定陽氏... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

任... 應第九號...

第一條... 應第九號...

第四條... 應第九號...

第五條... 應第九號...

第六條... 應第九號...

第七條... 應第九號...

第八條... 應第九號...

第九條... 應第九號...

第十條... 應第九號...

第十一條... 應第九號...

第十二條... 應第九號...

第十三條... 應第九號...

第十四條... 應第九號...

第十五條... 應第九號...

第十六條... 應第九號...

第十七條... 應第九號...

第十八條... 應第九號...

第十九條... 應第九號...

第二十條... 應第九號...

第二十一條... 應第九號...

第二十二條... 應第九號...

第二十三條... 應第九號...

第二十四條... 應第九號...

第二十五條... 應第九號...

第二十六條... 應第九號...

第二十七條... 應第九號...

第二十八條... 應第九號...

第二十九條... 應第九號...

第三十條... 應第九號...

第三十一條... 應第九號...

第三十二條... 應第九號...

第三十三條... 應第九號...

第三十四條... 應第九號...

第三十五條... 應第九號...

第三十六條... 應第九號...

第三十七條... 應第九號...

第三十八條... 應第九號...

第三十九條... 應第九號...

第四十條... 應第九號...

第四十一條... 應第九號...

第四十二條... 應第九號...

第四十三條... 應第九號...

第四十四條... 應第九號...

第四十五條... 應第九號...

第四十六條... 應第九號...

第四十七條... 應第九號...

第四十八條... 應第九號...

第四十九條... 應第九號...

第五十條... 應第九號...

第五十一條... 應第九號...

第五十二條... 應第九號...

第五十三條... 應第九號...

第五十四條... 應第九號...

第五十五條... 應第九號...

第五十六條... 應第九號...

第五十七條... 應第九號...

第五十八條... 應第九號...

第五十九條... 應第九號...

第六十條... 應第九號...

第六十一條... 應第九號...

第六十二條... 應第九號...

第六十三條... 應第九號...

第六十四條... 應第九號...

第六十五條... 應第九號...

|        |    |        |
|--------|----|--------|
| 一、金二萬圓 | 馬場 | 野澤     |
| 一、金一萬圓 | 淵田 | 英(令州)  |
| 一、金一萬圓 | 馬場 | 公(海州)  |
| 一、金二萬圓 | 馬場 | 發(鳳凰城) |
| 一、金三千圓 | 薛木 | (林森城)  |
| 一、金三千圓 | 吳  | (清海城)  |
| 一、金三千圓 | 趙派 | (令州)   |

山領地申揚の際我政府には若し多數の歸化人あれば北洋道に農地を與へて移住せしむるの意見ありしも歸化人少數ありしが爲り遂に金圓と下附するところなり尤も該金は歸化人終身の方向を立てしむる題目あるを以て軍事公債證券にて下附せられ東京府廳にて之を監視すると云因に記す歸化人中傑出の二人は古領地の候補後期國の電志より亦顯著の趙派

一節は露は幼少にして現に總督府の給仕を勤  
めればばにや三名は別けて三千圓の下附さう  
云ふ

●澁州郵便線の開始

豫て計畫準備中なりし現在の京城、開城間に於ける郵便鐵路を早  
く澁州に延長せんとするものは已に其準備  
を終ひたる由にて愈々本日より郵便物の運送  
を開始する都合ありと

●支那人又来る

去十九日芝罘より入港の  
安那丸にて支那人二百九名又々仁川へ來着し  
たり今妓婦の檢査と見るに至つて輕便にして  
直かに市街一枚を所持する位に過ぎず而して  
其口實するや支那商人より雜貨を買込み置に内  
地へ搬入するものゝ如しと

●京城居留外國人

四五日前政人が調査せ  
た所なるを云ふと聞くに當時居留商人の會衆

に居留せるものは約八百人にして其戸數百二十戸内外ありしと然るに其後清國商人は續々入來し再昨日の如きは七十名ばかりも一時に入京せし由すれば今日にては千名以上にも達し居るからんと云ふ

●商業振興會　當留地重なる商業家の組織せる商業振興會例會は本日夕刻より左近會太田氏宅にて開會する筈なり

●運動會の延期　昨日を以て舉行せらるべき決定ありし京坂高等高等小學校春季運動會は生憎當日雨天なりしを以て明二十六日に延期せり例日は日曜日あれば父兄及有志者の臨會には別て好都合あるべしと思はる

●仁川電燈會社　同會社にては通日來東京より技手原口岩吉氏來仁し萬事の設計と爲し

別りしが此頃京仁國領海沿の計畫あるを以て  
 浮山出帆定の後電燈掲付けの場所と定むるこ  
 とになり同夜手は去る廿一日出帆の玄海丸に  
 く一先附船せり因に肥前同地に於て點燈の申込  
 とおしたるもの意外に多しと云ふ  
 ●信濃川丸の延着 去る八日午後三時仁川  
 と出帆して日本に向ひたる大坂商船會社の信  
 濃川丸は仁川と出帆してより以來海上風波高  
 く殊に渡路に際して咫尺を拂せざる所多く爲  
 に思はしき遅航と爲すと傳ふ仁川、釜山間の  
 航路に十一日間と費し漸く去る十八日午賣九  
 時釜山港に着したりと雖は同船は右の如く仁  
 釜間の航海に意外の日子と費したると以つて  
 釜山に着したるときは糧食の如き殆ど絶盡  
 し居たりし由なり

物  
一  
保

郵會仁出廣  
船式社船川帆告

●大坂商會  
仁川荷客取扱所

小西 助  
木村 徳夫  
大阪 三三 大支店  
小西 助  
木村 徳夫  
大阪 三三 大支店  
小西 助  
木村 徳夫  
大阪 三三 大支店

**力** 石丸鹿太郎  
新荷着 愛物洋服地及  
附屬品 一切新種  
セメント  
力 石丸鹿太郎  
新荷着 愛物洋服地及  
附屬品 一切新種  
セメント

金 七分五厘  
金 七分五厘  
金 七分五厘

石丸鹿太郎  
新荷着 愛物洋服地及  
附屬品 一切新種  
セメント

一 荷 爲 鏡  
一 代 金 取 立  
一 當 應 須 金 差 越  
一 一 年 八 六 分 分 分

**力** 石丸鹿太郎  
新荷着 愛物洋服地及  
附屬品 一切新種  
セメント

一 下 等 五 十 五 錢  
一 中 等 七 十 五 錢  
一 上 等 三 十 五 錢  
外 二 下 等 三 十 五 錢

發行所 大阪新報社  
發行所 大阪新報社  
發行所 大阪新報社







●法國公使來平

향자에 조선주찰되었든아라공사관  
참서관 버리야 노호스기 (또는 일변전에  
참서관이었다라) 인호야 (記호니 그는 왜  
任호야 나왔다고 저작일에 記호를 쓴  
고참의 일은 공서관이며 일본은 공서관  
을防開하시니라)

52

응답한 후 동전 버는 공작도 잊지 않게 하라

●晉州之暴徒

경상도 김해군 진주포도밭을 한답  
논소문이 있다 하되 그런 밭은 전답이 업  
고 대구에 밭은 수 일 전의 진주포로 향  
하여 떠났고 또 전주 진위치법정도 지  
나간 실 일 일의 진주포로 향하여 떠났  
수야 마 일 일의 전답 전답이라더라

의대장군이 규바

흠 규방묘일이 지정함이 아직 없었  
 는 슈업고 征討之前途가 設호호므로, 서  
 반야정부도 여러 호야 그러한 지  
 방 所屬과 總督 체라는 것은 규방묘에 게  
 고시 할야 날이 기를, 본판은 이번의  
 싸움을 말나 此地로 나왔노라, 그  
 못디의 민인 울몰노 호고우려서 번아

국민의 忠愛가 없는 판이 아니되라.  
본관은 국민이 忠義를 문필함과 같치  
府로 贊成하는 자를 처벌하니 치못  
할지라. 본관이 勳典을 미흡함이 있스  
니. 인오 勳原 勳考야 大略을 열치 말라  
三十一

●濟國政府求義手足이라 濟國정부가  
莊天津일본영사를 경호야 義手足(의

官報抄錄

成田及聯合

|           |     |
|-----------|-----|
| 補軍部政務局政務員 | 勳封  |
| 二等軍司      | 洪汝璣 |
|           | 白應遠 |

|           |          |
|-----------|----------|
| 補軍部經理局第一員 | 二軍軍司 鄧觀明 |
| 補平遠鎮衛大隊總官 | 三軍軍司 全德生 |
| 補軍部經理局第二員 |          |

正尉 李圭燮  
正尉 李恒魯  
正尉 吳昌成

[illegible]

正附  
朴品發  
單本題  
同  
四  
風  
遊城歌

|           |        |
|-----------|--------|
| 副親衛第五大隊副官 | 副尉 趙軍交 |
| 副親衛第三大隊副官 | 副尉 申奉安 |
| 副親衛第四大隊副官 | 副尉 白南植 |
| 副親衛第五大隊副官 |        |

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 同  | 同  | 同  | 同  | 謝  |
| 洪鑑 | 徐茂 | 金錫 | 秦學 | 安漢 |
| 同  | 同  | 同  | 同  | 同  |

問 趙德然  
答 成股發  
問 吳昭學  
答 白鶴齋  
問 金七

補祝壽第三大採用

|    |     |       |
|----|-----|-------|
| 同  | 鄭弘祖 | 巡檢指揮  |
| 同  | 秦仁煥 | 開張三日  |
| 同  | 鄭殿仔 | 以上    |
| 同  | 金元桂 | 依顯免本官 |
| 同  | 俞演著 | 四月    |
| 參尉 | 鄭汝鶴 |       |

|     |     |     |     |     |     |     |      |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 同   | 同   | 同   | 同   | 同   | 同   | 同   | 同    |
| 白南園 | 大德亭 | 洪飛蒼 | 吳承樵 | 李昇壽 | 有謙堂 | 尹錫天 | 一尋取制 |
| 白南園 | 大德亭 | 洪飛蒼 | 吳承樵 | 李昇壽 | 有謙堂 | 尹錫天 | 一尋取制 |

|            |            |            |            |            |             |
|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 三等軍司 劉 帥   | 一等軍司 洪 汝 明 | 二等軍司 安 奎 永 | 三等軍司 姜 錫 祐 | 四等軍司 姜 錫 祐 | 五等軍司 姜 錫 祐  |
| 六等軍司 姜 錫 祐 | 七等軍司 姜 錫 祐 | 八等軍司 姜 錫 祐 | 九等軍司 姜 錫 祐 | 十等軍司 姜 錫 祐 | 十一等軍司 姜 錫 祐 |

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 同  | 李泳夏 | 이래원 |
| 同  | 李昌根 | 리라수 |
| 正尉 | 金潤培 | 치하근 |
| 正尉 | 金彬進 | 윤노되 |

|    |     |        |
|----|-----|--------|
| 同  | 林漢相 | 더라그다으  |
| 參判 | 崔學西 | 미소加力教이 |
| 參政 | 李克壽 | 단이한단오  |
| 參議 |     | 이約克으게  |

|          |              |     |
|----------|--------------|-----|
| 以上四月二十二日 | 吳國工部會計局長 李度賢 | 金龍元 |
| 吳國工部礦山局長 | 金龍元          | 金龍元 |
| 給三級俸     |              |     |
| 給三級俸     |              |     |
| 給三級俸     |              |     |

將百의壽命을由치아니코國境上에發行  
 하미有하시문以하야實人懸隔을依  
 하야一週日釋讓을施함  
 萬은에장스  
 萬이만은데  
 萬었스니보

四月二十二日 奉 命  
駐劄日本公使館三等翻譯官 李杓楨  
仁川裁判所判事 朴世煥  
開城裁判所判事 李秋榮  
滿洲裁判所判事 尹南武  
駐劄仁川州 朴世昌

|            |            |
|------------|------------|
| 李思勳        | 李思勳        |
| 洪格鉉        | 洪格鉉        |
| 許州府主事      | 許州府主事      |
| 甘肅府主事      | 甘肅府主事      |
| 駐日日本公使館書記生 | 駐日日本公使館書記生 |
| 欽米源        | 欽米源        |

|     |                              |             |
|-----|------------------------------|-------------|
| 安大卒 | 黃任開城裁判所判事                    | 尹吉來         |
| 李漢哲 |                              |             |
| 朴滄登 |                              | 姜漢明         |
| 李錫奎 | 任軍部主事候判任官六等                  |             |
| 金昌錫 |                              | 洪在深         |
| 趙國選 |                              | 允謙夏         |
| 趙泰得 | 任晉州府主事候判任官七等                 |             |
| 李建祥 | 給一級俸                         | 漢城裁判所判事 尹庚圭 |
| 林相初 | 以上四月二十三日                     |             |
| 徐丙善 |                              | 警務官 洪應祖     |
| 金龜生 |                              |             |
| 李基灼 | 職務上에注意치 못함이有함은以此로以야<br>昨面致書  | 警務廳廳巡 鄭南柱   |
| 鄭因福 |                              |             |
| 閔弘祖 | 惡債擔保이被忽함이有함은以此로以야<br>別案三日에處置 |             |
| 余仁煥 |                              |             |
| 鄭毅軒 |                              |             |

以上四月二十三日內部

●英國史要

金元杜 依願免本官  
金廣者 四月二十四日  
鄧頤朝 中興院院長  
鄧頤朝

생의 서소호니 두 군사가 각각  
현명식이라 쓰흠을 저물가서 지하  
가드니 將에 匪黨法과 將期의  
호바이 되더니 그이 들한에 匪黨의  
서파홀시 죽은 자 이 오십명이 오스루  
잡힌 자 이 오천 안이라 함이 匪黨으로  
다라 났더니 匪黨사들이 감안 이 巴力門  
을 상흥하야서 그 외물을 만하 밧고 왕  
을 잡아 巴力門으로 보되 고 왕의 巴力門  
을 잡가도 쓰호다가 피하야도 두 홀시  
덕이 쫓가를 심히 급하호는지라 워  
합을 여러 번 지남시 큰 나무로 올라가  
서 그가지 돌안고 숨어서 죽기를 면하

왕이 마디 들니 굿치게 하고 마디 들  
 에 두코는 각은이 죽어 상연 자심하였  
 거늘 불쌍한가 두글은 되왕아 내가 나의  
 스스로 말한기들이 드려노라 왕이  
 으다 내가 무슨 법과 관리들 가졌건  
 날을 심문하고 고쳐주는 노는 파업  
 함이 업노라 불쌍한가 왕으로더 브러  
 변하기 물오리 하다가이에 왕을 다  
 처소에 옮기니 나라사물들이 불쌍이  
 나기는 자이 있어 글은 되상대는 왕을  
 구원하소서 하니 군소들이 한집와 소  
 리질너크비적거려글은 다아는 말  
 이 죽임자이라 하더라 그후 유일만와

金元松 依願免本官  
金寅吉 中領院頭長  
鄭汝昌 鄭師胡  
四月二十四日

英國史要 (續)

白王이라 하는 왕이 일본 천후의 사십 일년의 물돈도 성을 버리고 蘇格蘭으로 가서 몽골格魯德士의 계버려서 거기에서 노리로 죽었다니 또 그 서의愛府國에加神力牧사몽달이 무리로 일어나서 왕에게년이라 일 짓고 波羅特土用牧에 무리인물과 바코노라 하여야 일공을 만물을 시

司 洪源明  
同 安泰奉  
司 洪源明  
司 劉 坤  
司 尹錫天  
有誠通  
李爾善  
吳煥祺  
洪乘益  
太德平  
白南福  
鄭汝昌  
金寅吉  
金振浩  
金澤培  
崔潤承  
李昌根  
李沐夏  
林漢伯

원(國)근처의 인(人)사(事)를 얻은 것이 형제 부부간의 혹은 말노베며 후손 불외 살으리혹은 불에 던져 죽이고 교장이 많을 터 되 波羅特土用교중에 사름을 들이치안코는 우리 한쪽에 두려오지 못하리라 하야 전후의 죽음은 자 이 고쳐 인이라 한다 사(事)들이 모다 암울 회물하더라그 다음에 燕關北西의 인(人)을 殺戮한 파 및加神力牧에 소년(少年)들의 지방 장호(將護)사(事)를

이 서의 왕의 군사들을 가차 없이 죽이는 본教敎徒가 만든 지라 그 뜻이 자주하기를 유자 하여서 드디어 큰 변란을 빚어 내시 그 피수에 장슈는 肥田法에 뒤일이 위력으로 보써 라워성을 제하여 고조금도 고령하고 기한하는 년 사업은 지라 일노말의 암어 英園을 편작파 韓西의 서왕을 달기 여 군사들 일을 이것이라 일천육십사심판년의 聖賢法의 極期에 군사를 옮겨 나라고 가서 철시언하여 처서 언하여 파하고 本不從免을 세고 伯都哈敦을 의의나 蘇俄의 군사 가몬여 저쪽까지 보내 다 시는 왕을 좃는다 차 이 업더라 十二月의 俄軍의 군대가 俄軍의 兵力에 敵對한 蒙古軍을 잡아 巴力那의 庫이 드디어 俄國의 本教敎徒의 계로도 다 가니라 인(人)을 여러 명 잡아 간으니 巴力那

또이곳치하되왕이죽시도<sup>한</sup>  
권리가지나물허라지아니하였더니  
그후얼마만의왕이조력문을출하여  
궁으로다가온가지날이어서내외와  
다보러상의크저호노라호된<sup>것</sup>이  
분하다<sup>고</sup>하더라<sup>한</sup>안코<sup>는</sup>불가<sup>한</sup>말  
지욕하여모난혼다하여죽일형벌두  
고자하여<sup>한</sup>법로하여금문안<sup>(禁門)</sup>을사  
라하니<sup>한</sup>해달이사라나며답호<sup>고</sup>  
<sup>한</sup>말이라<sup>한</sup>도<sup>한</sup>하<sup>고</sup>이<sup>한</sup>이<sup>한</sup>두려  
워급히불너<sup>고</sup>이니의달은천천히  
내한말을들으라만일죽지아닐진디  
공왕할모라가라하니여러무리가모  
다분사하여호느디이씨의<sup>한</sup>새사람  
이잇서스말할내어<sup>고</sup>우리는<sup>한</sup>  
사사<sup>한</sup>을의신하여망제발숨을하노  
니이<sup>한</sup>은<sup>한</sup>친척년<sup>한</sup>작<sup>한</sup>일이<sup>한</sup>라함  
금문사람이이셔스으니잇지도  
금도늦쳐유지안닌고함더라

社  
告

社告  
 今同本社所設之地方開設諸君에 便利함을  
 爲論하야 富新所門으로 移遷候하물 諸君  
 於此 移遷工部衙門에서 認可되얏스리  
 新設所門에 所設은 新設門一兩二錢五  
 分과 舊設門七錢五分은 本社에 納金으로 보  
 치시면 日々に 보되옵

[illegible]



去る五日午、驛六ヶ峠山麓を出發して、驛六ヶ峠より、木戸を遙望し、此峠前面の山頂に

の遷移者は長崎縣佐野大久保國太郎、山  
久大將及び大矢四日一、大久保大將にて終

は左の如し  
八年以上十一年未満 津拾五分の一 十七

各州では月曜も  
休まず営業して

予する當く之が爲り原田一郎北事(安)

二、村屋半の建築費 門つゝ、と備へ器具す

江に投じ煮刺たる魚鱗に身肉を要ひたりと



問塵

京城  
卸店  
限本商行

此項ヲ金ハ運搬ヲ以テ出入ヲ爲シ一口金五圓以上

一送金（可倍  
送金共）

|    |    |     |    |    |
|----|----|-----|----|----|
| 仁川 | 釜山 | 長崎  | 福岡 | 馬關 |
| 神戸 | 大阪 | 名古屋 | 横濱 | 東京 |

廣  
告

銃 附 屬

石川商會  
護謨履  
長履  
西洋服各種  
帽子

贊化醫院長 古城梅溪

**岩谷商會**  
八去ル明治二十七年東京  
支店設以來諸案ノ御愛顧

大坂二大支店

從事之ニ事務假設ニ想フ夫以相當ノ人  
ヲ選ビ珠ニ鉛鐵ニシテ小兒病ノ如キハ實ニ相  
對シテ大敵ニシテ非ニシテ愛ニシテ支古ク明ス

組々天陶器本  
同種可致處勿突ノ原紙上ヲ以テ紙箱申張  
木村建夫支店

Figure 1. The effect of the concentration of the polymer on the gelation time of the polymer solution. The concentration of the polymer was 0.1, 0.2, 0.3, 0.4, 0.5, 0.6, 0.7, 0.8, 0.9, 1.0, 1.1, 1.2, 1.3, 1.4, 1.5, 1.6, 1.7, 1.8, 1.9, 2.0, 2.1, 2.2, 2.3, 2.4, 2.5, 2.6, 2.7, 2.8, 2.9, 3.0, 3.1, 3.2, 3.3, 3.4, 3.5, 3.6, 3.7, 3.8, 3.9, 4.0, 4.1, 4.2, 4.3, 4.4, 4.5, 4.6, 4.7, 4.8, 4.9, 5.0, 5.1, 5.2, 5.3, 5.4, 5.5, 5.6, 5.7, 5.8, 5.9, 6.0, 6.1, 6.2, 6.3, 6.4, 6.5, 6.6, 6.7, 6.8, 6.9, 7.0, 7.1, 7.2, 7.3, 7.4, 7.5, 7.6, 7.7, 7.8, 7.9, 8.0, 8.1, 8.2, 8.3, 8.4, 8.5, 8.6, 8.7, 8.8, 8.9, 9.0, 9.1, 9.2, 9.3, 9.4, 9.5, 9.6, 9.7, 9.8, 9.9, 10.0, 10.1, 10.2, 10.3, 10.4, 10.5, 10.6, 10.7, 10.8, 10.9, 11.0, 11.1, 11.2, 11.3, 11.4, 11.5, 11.6, 11.7, 11.8, 11.9, 12.0, 12.1, 12.2, 12.3, 12.4, 12.5, 12.6, 12.7, 12.8, 12.9, 13.0, 13.1, 13.2, 13.3, 13.4, 13.5, 13.6, 13.7, 13.8, 13.9, 14.0, 14.1, 14.2, 14.3, 14.4, 14.5, 14.6, 14.7, 14.8, 14.9, 15.0, 15.1, 15.2, 15.3, 15.4, 15.5, 15.6, 15.7, 15.8, 15.9, 16.0, 16.1, 16.2, 16.3, 16.4, 16.5, 16.6, 16.7, 16.8, 16.9, 17.0, 17.1, 17.2, 17.3, 17.4, 17.5, 17.6, 17.7, 17.8, 17.9, 18.0, 18.1, 18.2, 18.3, 18.4, 18.5, 18.6, 18.7, 18.8, 18.9, 19.0, 19.1, 19.2, 19.3, 19.4, 19.5, 19.6, 19.7, 19.8, 19.9, 20.0, 20.1, 20.2, 20.3, 20.4, 20.5, 20.6, 20.7, 20.8, 20.9, 21.0, 21.1, 21.2, 21.3, 21.4, 21.5, 21.6, 21.7, 21.8, 21.9, 22.0, 22.1, 22.2, 22.3, 22.4, 22.5, 22.6, 22.7, 22.8, 22.9, 23.0, 23.1, 23.2, 23.3, 23.4, 23.5, 23.6, 23.7, 23.8, 23.9, 24.0, 24.1, 24.2, 24.3, 24.4, 24.5, 24.6, 24.7, 24.8, 24.9, 25.0, 25.1, 25.2, 25.3, 25.4, 25.5, 25.6, 25.7, 25.8, 25.9, 26.0, 26.1, 26.2, 26.3, 26.4, 26.5, 26.6, 26.7, 26.8, 26.9, 27.0, 27.1, 27.2, 27.3, 27.4, 27.5, 27.6, 27.7, 27.8, 27.9, 28.0, 28.1, 28.2, 28.3, 28.4, 28.5, 28.6, 28.7, 28.8, 28.9, 29.0, 29.1, 29.2, 29.3, 29.4, 29.5, 29.6, 29.7, 29.8, 29.9, 30.0, 30.1, 30.2, 30.3, 30.4, 30.5, 30.6, 30.7, 30.8, 30.9, 31.0, 31.1, 31.2, 31.3, 31.4, 31.5, 31.6, 31.7, 31.8, 31.9, 32.0, 32.1, 32.2, 32.3, 32.4, 32.5, 32.6, 32.7, 32.8, 32.9, 33.0, 33.1, 33.2, 33.3, 33.4, 33.5, 33.6, 33.7, 33.8, 33.9, 34.0, 34.1, 34.2, 34.3, 34.4, 34.5, 34.6, 34.7, 34.8, 34.9, 35.0, 35.1, 35.2, 35.3, 35.4, 35.5, 35.6, 35.7, 35.8, 35.9, 36.0, 36.1, 36.2, 36.3, 36.4, 36.5, 36.6, 36.7, 36.8, 36.9, 37.0, 37.1, 37.2, 37.3, 37.4, 37.5, 37.6, 37.7, 37.8, 37.9, 38.0, 38.1, 38.2, 38.3, 38.4, 38.5, 38.6, 38.7, 38.8, 38.9, 39.0, 39.1, 39.2, 39.3, 39.4, 39.5, 39.6, 39.7, 39.8, 39.9, 40.0, 40.1, 40.2, 40.3, 40.4, 40.5, 40.6, 40.7, 40.8, 40.9, 41.0, 41.1, 41.2, 41.3, 41.4, 41.5, 41.6, 41.7, 41.8, 41.9, 42.0, 42.1, 42.2, 42.3, 42.4, 42.5, 42.6, 42.7, 42.8, 42.9, 43.0, 43.1, 43.2, 43.3, 43.4, 43.5, 43.6, 43.7, 43.8, 43.9, 44.0, 44.1, 44.2, 44.3, 44.4, 44.5, 44.6, 44.7, 44.8, 44.9, 45.0, 45.1, 45.2, 45.3, 45.4, 45.5, 45.6, 45.7, 45.8, 45.9, 46.0, 46.1, 46.2, 46.3, 46.4, 46.5, 46.6, 46.7, 46.8, 46.9, 47.0, 47.1, 47.2, 47.3, 47.4, 47.5, 47.6, 47.7, 47.8, 47.9, 48.0, 48.1, 48.2, 48.3, 48.4, 48.5, 48.6, 48.7, 48.8, 48.9, 49.0, 49.1, 49.2, 49.3, 49.4, 49.5, 49.6, 49.7, 49.8, 49.9, 50.0, 50.1, 50.2, 50.3, 50.4, 50.5, 50.6, 50.7, 50.8, 50.9, 51.0, 51.1, 51.2, 51.3, 51.4, 51.5, 51.6, 51.7, 51.8, 51.9, 52.0, 52.1, 52.2, 52.3, 52.4, 52.5, 52.6, 52.7, 52.8, 52.9, 53.0, 53.1, 53.2, 53.3, 53.4, 53.5, 53.6, 53.7, 53.8, 53.9, 54.0, 54.1, 54.2, 54.3, 54.4, 54.5, 54.6, 54.7, 54.8, 54.9, 55.0, 55.1, 55.2, 55.3, 55.4, 55.5, 55.6, 55.7, 55.8, 55.9, 56.0, 56.1, 56.2, 56.3, 56.4, 56.5, 56.6, 56.7, 56.8, 56.9, 57.0, 57.1, 57.2, 57.3, 57.4, 57.5, 57.6, 57.7, 57.8, 57.9, 58.0, 58.1, 58.2, 58.3, 58.4, 58.5, 58.6, 58.7, 58.8, 58.9, 59.0, 59.1, 59.2, 59.3, 59.4, 59.5, 59.6, 59.7, 59.8, 59.9, 60.0, 60.1, 60.2, 60.3, 60.4, 60.5, 60.6, 60.7, 60.8, 60.9, 61.0, 61.1, 61.2, 61.3, 61.4, 61.5, 61.6, 61.7, 61.8, 61.9, 62.0, 62.1, 62.2, 62.3, 62.4, 62.5, 62.6, 62.7, 62.8, 62.9, 63.0, 63.1, 63.2, 63.3, 63.4, 63.5, 63.6, 63.7, 63.8, 63.9, 64.0, 64.1, 64.2, 64.3, 64.4, 64.5, 64.6, 64.7, 64.8, 64.9, 65.0, 65.1, 65.2, 65.3, 65.4, 65.5, 65.6, 65.7, 65.8, 65.9, 66.0, 66.1, 66.2, 66.3, 66.4, 66.5, 66.6, 66.7, 66.8, 66.9, 67.0, 67.1, 67.2, 67.3, 67.4, 67.5, 67.6, 67.7, 67.8, 67.9, 68.0, 68.1, 68.2, 68.3, 68.4, 68.5, 68.6, 68.7, 68.8, 68.9, 69.0, 69.1, 69.2, 69.3, 69.4,

銀行 京都支店

七分貳厘

金五圓以上

六七月  
年

二當座頂金寶

荷爲換

一什金取立

七

崎  
福岡  
馬關

3

廣告

一上尊

一 中 五 十 錢

外二下等 三十五錢

京坂池親三十八號施  
田原虎公

新荷着夏物洋服地及  
附屬品一切新柄種々  
日セメント 荷着

從來之奧力租洋服店은 금 10 萬에 損負을  
如注 交 了 了

얏스니 극진히 嚴固로 鐵壁을 부치런  
하호오니 倭國히 受領來하야 주심을

力丸鹿太郎


着夏衣洋服及附屬品

各色貨新柄種々

力武洋服店支配人  
四月 石丸 宛 太 郎

● 日方和漢洋藥廣賣  
工用

日本大坂  
東區  
成尾安五郎


 弊堂通子校都  
會により左之所

轉仕諸印特別  
廉價彫刻仕候朱印内販

賣煉換仕候  
京政長調六号地石川商出より南二軒内

大田幸次郎  
御用印  
小林好文堂

左處移舍고려

圖章廉價彫刻

三 己 高 德 人 有 道 德 則 貴 矣 矣  
京 畿 長 訓 不 勞 地 石 川 齋 會 中 兩 三 家 國  
大 日 本 東 京 小 休 子 文 堂

[illegible]

五、廣活字館字號發行愛國金六

資金は悉皆資金にて可申受領事

四 樓 人 島 田 繼 雄  
朝鮮京城城南區合安坊縣民



漢報新

日六廿月二年九十九

○ 漢報新之發行 (本報)

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

本報發行所 在漢口英租界...

|      |           |           |
|------|-----------|-----------|
| 은의대장 | 乙未年九月十一   | 七百七拾貳萬六千元 |
| 은의대주 | 甲午年九月十二   | 八百八拾貳萬六千元 |
| 은의대수 | 乙未年九月十一   | 貳千五百六萬八千元 |
| 은의대수 | ○ 乙未年九月十一 | 그나라 국민이   |

저다가 압히 못크 제 열을 보며 글  
 되네가 장식으로 하야 금어 모양과  
 치관들이고 하저가아려히로되 아

社告

비오. 신만기를 보았더라

[illegible]

●法國代理公使之來省

●電信按手之海客行

●元山吳興國之雷錄

1900-1901

上海圖書館藏

五十一

論

五十二

11

二二

九 牙

合計 二  
百  
十  
張

고  
그  
나  
라

也久、聖學終、

四

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

الحمد لله

100

다  
고

기업서지라

*Journal of Management Education* 36(8) 907-924  
© The Author(s) 2012. Reprints and permissions:  
<http://www.sagepub.com/journalsPermissions.nav>

宮殿少錄

어업어식

1875

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

[illegible]

平七  
人  
子  
子  
子

1997

11

100

忠

234

100

100

訓詁

任公州府主事

以上

重刊英字

100

11-10-10

자녀 1인당

芥子園畫傳

[illegible]

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

01  
02  
03  
04

100

[illegible]





趣の概ありしより俄に盛衰易轉して、大關節ある那親院の棟兵衛壽藏山に別荘開き、増田所々を引移置の松林中に休憩せしが此日朝日に露宿し來て朝來映日、佳境にして高城下に傍せしがば來觀曙光を得て感樂し、斯く練兵場を立錫の金地なきに至るが所々十一時過ぎ青年會と交厚し各種の遊戯始め、昨午に及んで來賓及一同松林中に入りや、煙草賣りの陳小娘を開き午後一時下は再び遊戯に出で、徒一同隊列を成し血戦、敵軍萬、四百餘州、を哨へ東西進退行し、終つて東方に向て整列し風聲を和して、其代を以て再整り卒たる音、海潮する鼓聲を相和し和氣融融、天氣更に明麗を加ふるを覺ふ是夜、於て散花並ちて、天皇陛下萬歲、皇后陛下萬歲、大日本帝國萬歲と三呼し一問之に和す是より再び遊戯と始り先づ女子徒の前で賽をとり次に、模擬戰鬥と爲す先づ男生徒二年生以上を紅白の二隊に分ち教員三名各々の几が將となり二年以上の女子は白組と爲かしめて看戰歸に、一學年生徒と以つて番覆卒に充てられは柳梨三森に分配し而して教員三名番覆と有り弟子及び砂礫木と以つて藥品に幾す又た各員諸筋の左右に紙片と號ひ付け其の一と番覆は凡たものと負傷とし、双方とも番は凡たなるものと負傷とし大将にて其の符と號みれば則ち全軍の敗北とす扱て笹竹神社に因りし一隊加點の點をとり二回の交關紅白各一勝と得て分形式を行ひ校長は優者と選んで授けず其の旨を告げて故其次女姫手打球未だ十歳川中島戰爭等と演じ午後四時に及んで全生徒延焼列席止薪と行ふ凡九にて會すと（隊伍内頭等及び夫人、宇佐川中佐、渡邊少佐、加藤外交官、中西野長、大本書記生、樋野元虎局長、和田居留民總代表西及居留地會議員、商業會議所職員、新聞記者、生徒の父兄等無慮百餘名）及び日語學校生徒約八十名は、定款師之れと稱ひ、漢政府小學校生徒三百餘名は吉見照村等之れと稱ひ、京城華學生六百七使者は事島校長等之れと稱ひ、朝鮮人來客等又た中西警察等は數百名と稱ひ、果ては金にして充分の愉快を取ると得たり。

○西京丸の初披露　英劇、戰に於て有名なりし日本郵船會社の特務西京丸は既に全く燃焼中と云ふ本月十日以迄燒付行ひたりしは、結果を得たりしと以て愈々去る十四日正午頃と出帆し神戸馬場長崎を経て上海、杭行するに云ふ

○上海時事　とは上海に於ける國々新聞に於て其後發行所は米租界佛路百八十九號、第一號發刊に五月廿七日より發行の題旨、條約の結果滿洲は新に四藩と謂ふに濱馬の事務米益益んさんんとすると以て本邦政黨者に上流商界の形勢と知らしめんと云ふに云ふ

○三浦丸の引揚げ　昨年忠清道沖に沈没したる三浦丸は富嶺新習する人々と引受け近日引揚げる所なりと云ふ



山

スコット乳油  
レール油  
支炎瘰癧  
肺病  
小兒  
喉咽病

支炎瘰癧  
肺病  
小兒  
喉咽病

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

利便

組育製藥舖  
及バウソウ敬白  
日本特約販賣店  
小西儀助

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

座

朝鮮國一手販賣  
京城  
眼本商行

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

第五拾八國立銀行

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

一當座預金

一當座預金  
一當座預金  
一當座預金

岩谷商店  
岩谷商店  
岩谷商店

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント

力  
新荷  
附屬  
セメント